

卒業論文

財務分析に基づく次世代企業の探求

武村吉将

# 1 . 1 財務分析に基づく次世代企業の探求

武村吉将

## 大企業とは何か

私が属する高知工科大学の一面に“起業家養成校”としての顔があることはご存じの人も多い。

そのなかよくいわれる言葉に“これからはベンチャー企業の時代であり、大企業は成長が頭打ちで動きが鈍い”というのがある。

大企業の動きが鈍いかどうかは別として大企業とは何かをまず考えてみることにする。

大企業とは何であろうか。

### 1、大量の資本金

資本金というと難しいが用は元手である、大企業は大量の資本金を持っている。

### 2、大勢の従業員

大企業は大量の仕事を抱う、当然多くの従業員を持つ。

### 3、上場企業である

これは社会的認可と考えれば良いと思われる、世間がその企業を大企業として認める免許みたいなものであろう。

### 4、大量の売上高

2と同じく仕事多ければ売上も多い。

### 5、グループ企業を持つ

傘下にいくつかの企業を大企業は持っている、とはいえ上場企業のすべてがグループ企業持っているわけではない。

これらを総合して考えてみると“大企業” = 一定条件を満たす企業として考えられる。

つまり条件を満たす企業の急成長もあり得ることもある。

その戦略は業種によるセオリーは存在しても千差万別である。

経営戦略や資金面がしっかりすれば企業の新旧大小に関係なく業績が伸びてゆくはずであり、そのような企業を探す分析法の1つを探し出すことにより不況脱出の一步としてまた経済学発展の一步としてこの分析を行う。

## 1 . 2 目次

### 文章篇

1・1 大企業とは何か

1・2 目次

1・3 分析の基本

1・4 単純に考えるとこうなる

1・5 どのように分析をするか

2・1 ラインは存在する

2・2 企業の状況分析

2・3 企業の条件による各パターンごとの分析

2・4 グラフ上の位置における各パターンの分類

2・5 時系列におけるグラフ上の各軌道からの分析

3 結論

4 謝辞

5 参考文献

### その他調査結果、二次資料等

1 各業界の財務指標からなるグラフの表示

2 各企業の一言状況表示

3 各グラフの基となるデータ

## 1 . 3 分析の基本

まずいかにして企業の分析をするか。

大企業の条件の内3つと営業利益と営業外利益からなる経常利益の4つを条件にして判断を行う。

利益以外の他の条件は年区切りでは変化しにくいいためこれらの条件を採用した。

条件は以下の通り

- 1 資本金（つまり元手である）
- 2 従業員人数
- 3 売上
- 4 経常利益（営業利益と営業外利益を足したものの総合的な儲けである）

上記の4つをグラフ化で分かりやすく表現し、企業の大小差をなくして比較するため割合による比較を行う。

これらの値を以下の2つの値に変形させる。

- 1 従業員人数 / (売上 / 十億円)

売上を上げるに何人必要かと考えるより人数による効果と考えるといい。

- 2 経常利益 / 資本金

要は元手いくらでどれだけ稼いだかである。

## 1 . 4 単純に考えるとこうなる

単純に考えると絶好調の企業は前項の条件がどうなるのか。

資本金が多い、人数多い、売上が高い、経常利益が高い。  
これでは単に規模が大きくなるのと変わらないので割合の条件と照らし合わせると以下のようなになる。

人数 / 売上は売上が人数に対しはるかに高くなるので数値が小さくなる。  
経常利益 / 資本金は元手に対して稼ぎつまり経常利益が高くなるので数値が大きくなる。

人数 / 売上を X 軸に経常利益 / 資本金を Y 軸にとると絶好調企業は両方の条件を満たす、つまりグラフの左上方向に位置することになる。  
それでは、グラフの左下右上にある企業がどうなるのか、上下左右の分割ラインがどうなるのか、そして対策によるそれらの位置の変化をどうなるのか、実情との誤差はどれだけ出るのか。  
それらの結果を調査により調べる。

## 1.5 どのように分析を行うか

分析の方法は前項までに一応決定した。

ではどのような企業をいかなる方法で分析すればよいか。

結果が分かってもしどんな起業かが分からなければ意味がない。

よって、分析する企業は一般的に知名度の高い企業を使用する。

ここでは目安として東証平均株価採用銘柄から中心に分析をする。

分析する系列は時系列と業種別の二系列を基本とする。

時系列の分析理由は周囲状況との兼ね合いを見るためであり、業種ごとの分析理由はグラフ化した際に業種が多いとグラフの点がわかりにくいのと業界ごとの位置関係を知る必要があるためである。

時系列は2000年から2002年の3年を1年ごとに、業種別は生産業を中心に14系列を行う。

これらより導き出されるパターンを分析し結論の礎とする。

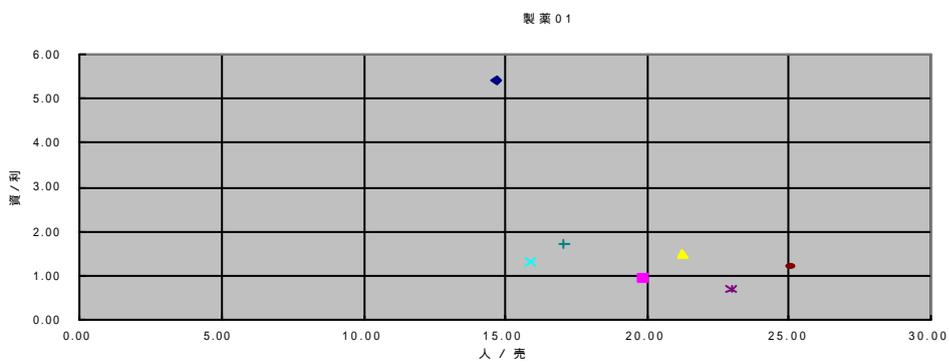
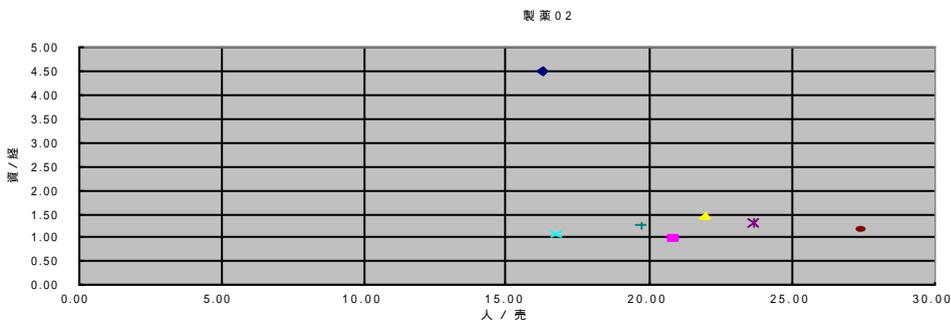
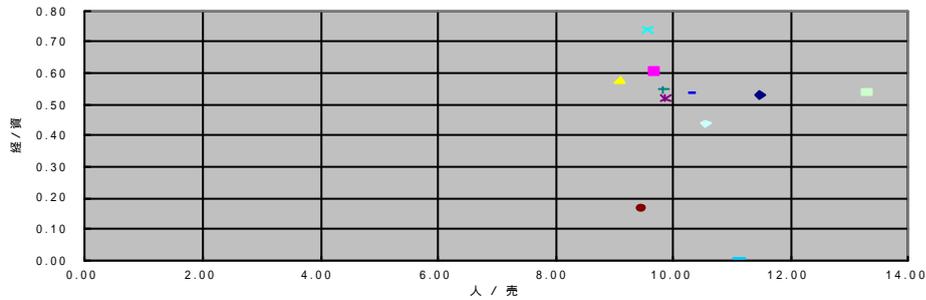
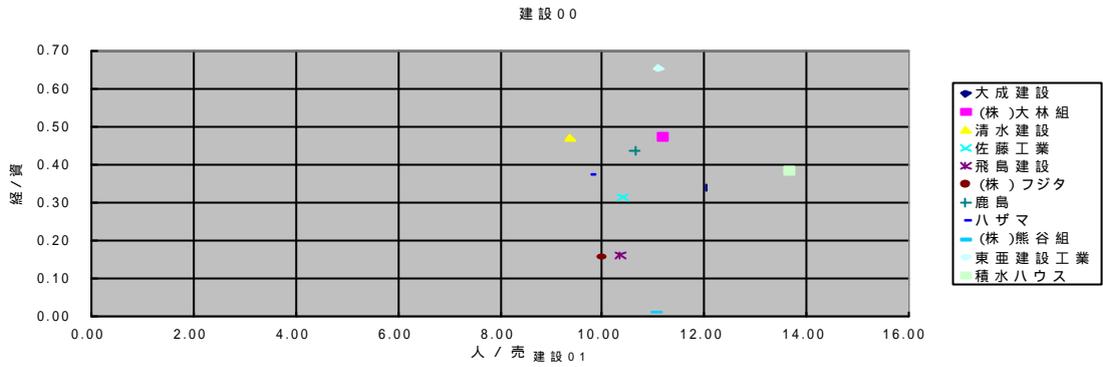
これらの分析によって出た結果が資料編1のグラフと資料編3の数値である正  
確には資料編3の数値を出した後それをグラフ化したのが1である。

注意事項としては2000年の人数は2001年のものをそのまま採用してい  
る

これは、連結決算での状況を出すために資料のない2000年の人数をそのま  
ま採用しているからである、ご了承いただきたい。

## 2.1 ラインは存在する

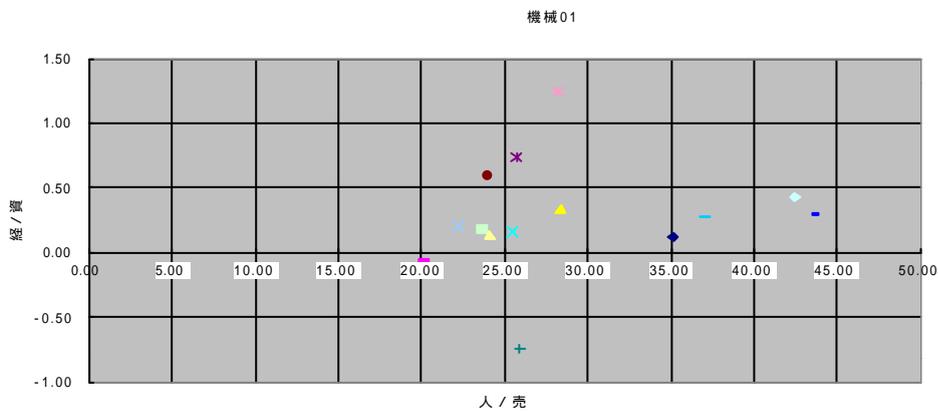
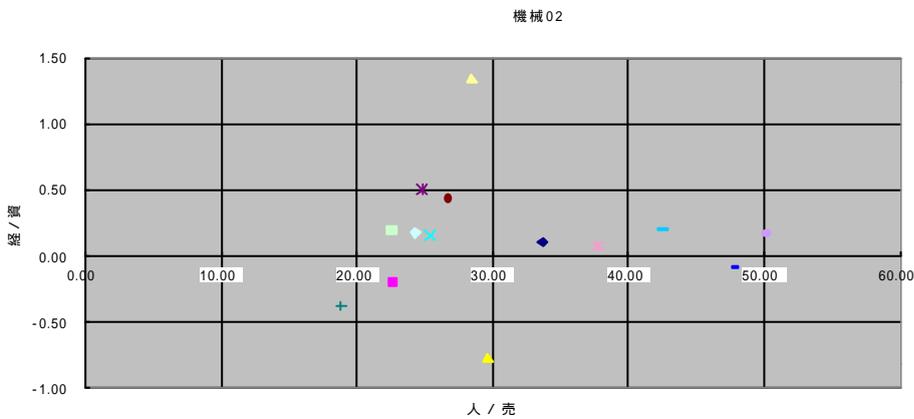
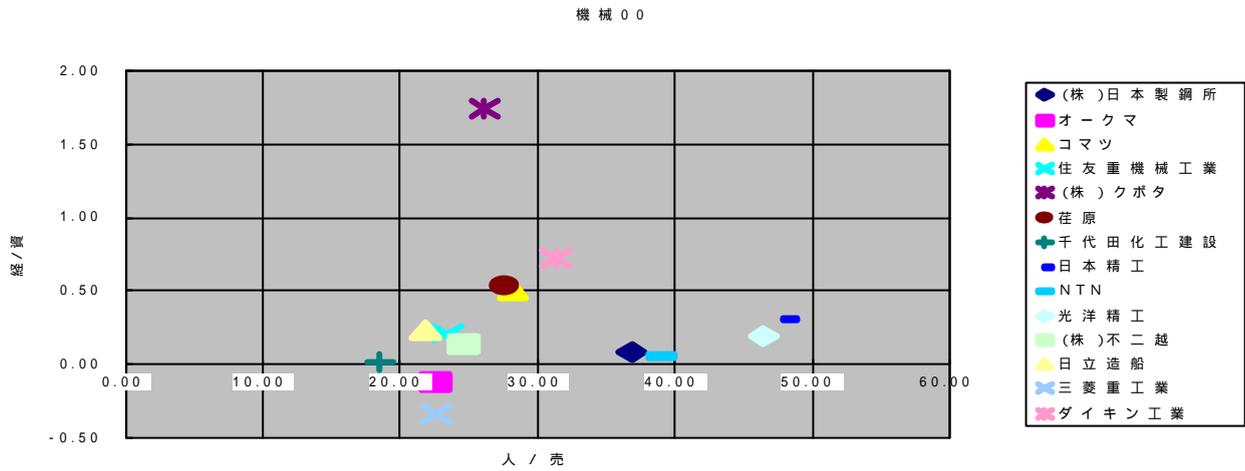
一例として2000年建設、2001年建設、2001年製薬、2002年製薬の各業界のグラフを表示する



これらのグラフを見比べてみると、ある程度、数値に変化はあるがグラフ上の位置関係の固定が見られる。

また、グラフ上の各点は業種ごとに人数 / 売上 の1～3本ぐらいの縦のラインに収束する。

これも一例として以下のグラフを見ていただく、2002年から2000年の機械業界のグラフである



これらの二本以上のラインを見比べてみると、それぞれに収束する業種は同じ業種でも少し異なることが分かる。

つまり機械を扱う会社とであるにしても、建設機械と工作機械を作る企業は

少し業種が異なると考えると基本的に業種ごとの人数 / 売上はほぼ一定に収束することが分かる。

また企業事に同じ種類でも違う商品売っているなのでこの微妙な違いも厳密に言えば違う業種といえる。

ただ、他の業種として比較するほどそれぞれの同分野異業種の差は大きくないので。

仮に業種ごとの分類を大業種、その中での分類を小業種とするとグラフにおいて大まかに以下の式が成り立つ。

$$X = \text{業界大分類値} + \text{小業種補正值}$$

経常利益 / 資本金においても全体の上下動はあるが人数 / 売上のラインほどではないにしろ。ラインは存在しある程度企業の序列による位置関係が固定している。

よってこれもグラフにおいておおまかに以下の式が成り立つ。

$$Y = \text{基本値} + \text{序列値}$$

つまり、各点のグラフ上の位置関係はある程度固定している事が確認される。

つまり式に表すと以下の通り

従業員人数 / 売上高 (1 億円) を X 軸に取り、経常利益 / 資本金を Y 軸に取った場合その位置の表示は以下の条件と式によって表される。

基本値を L、企業序列を M、業界大分類値を R、小業種補正值を S とすると

$$X = F ( R , S )$$

$$Y = G ( L , M )$$

が成り立つ

しかし、1年単位で見ると、これらには当てはまらない点も少なくはない。

つまりXとYは上記以外の要素も加わると考えられる。  
言い換えれば以下のとおりである。

$X = F$  (大業種分類値, 小業種補正值, 不明な値)

$Y = G$  (基本値, 序列値, 不明なファクター)

これらの不明な値は企業を取り巻く状況によるものと思われる。  
まずは企業の状況を知り、次にパターンごとに分けて分析していくことにする。

## 2. 2 企業の状況分析

企業の状況を分析するにあたって、細かく見ていけばその状況は数限りない。

しかし、景気の善し悪しや為替相場など企業を取り巻く条件はある程度分類できる。

よって、ここでは一定の基準を設けてある程度分類してそれにあてはまるパターンごとに分析していくことによりグラフ上の各点を上下左右に揺らす不明なファクターを探し出す。

分類の方法は以下の通り。

### 1. 演繹的分析

#### 1 特損、特益など

特損の8割方は不動産評価特損とリストラ特損である。

ちなみに残りの2割は事故による特損、例えば工場の火事等と裁判沙汰などがこれにあてはまる。

ここでは特損によるグラフ位置の変化をみる。

#### 2 為替相場

国際企業において、為替相場の影響は売上に大きく影響する。

もちろん、同じ状況でも輸出業と輸入業ではその利益は相反する。

主に大型生産業と卸売業、ガス会社や電力会社などが大きく影響する。

ここではその影響を調べる

#### 3 単純な状況

減収減益、純利増加などの直接的な財務指標の変化である。

ここではグラフ上の位置との関連を調べる

#### 4 海外の会社の状況

大企業の中には海外に販売会社を持つ者も多い。

国内の子会社と同じくその影響は非常に大きい。

これを調査する

### 2. 帰納的分析

グラフ上の位置、または移動によって分析する、前項までによって左右関係はほぼ決まっているので基本的には上の位置にある企業、グラフ上での時系列の位置関係の右への移動企業、その逆の左への移動企業を探しコメントより分析する

### 3. グラフによる時系列軌道による分析

グラフの各点が描く時系列による分類と分析である。

## 2. 3企業の条件による各パターンごとの分析

(注意：グラフ上のXの値とは従業員人数 / 売上 (1億円) のことである。  
 またYの値とは経常利益 / 資本金の事である。  
 また"00'大成建設"の意味は2000年の大成建設のデータという意味である。  
 他のデータもこれに準ずる)

### 1 大型特損

ここで言う、特損とは特別損失のことで、裁判の賠償金、不動産評価、リストラの退職金などがこれに当てはまる。

大型特損があった企業は以下の通り

00'大成建設、積水ハウス、住友金属工業、東芝、(NEC)、日産自動車 伊藤 忠商事、丸紅、三菱商事

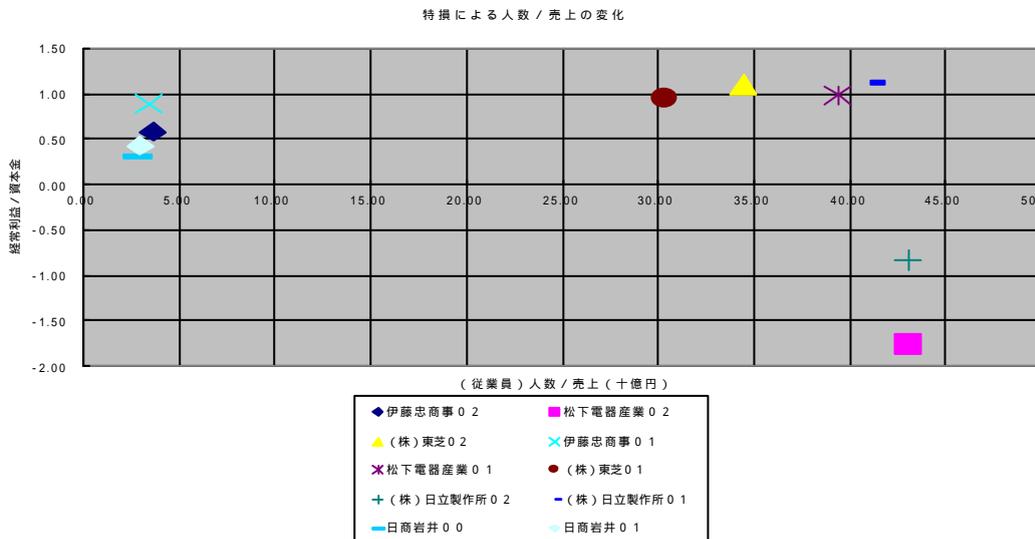
01'(株)熊谷組、(新日鉄)、松下電器産業、トヨタ自動車、日野自動車、日商岩井、NTT

02'大成建設、(株)大林組、(株)日立製作所、(株)東芝、NEC、富士通、松下 電器産業、伊藤忠商事

これらのうち、大成建設や日立、松下、東芝はXの値が大体5ぐらい増えている。

また、日産自動車もグラフ上の右側にある。02年においては伊藤忠もグラフ上での右側への移動が認められる。これらのことからあまり大きな数値には出ないにしろ、帰納的に特損によるXの値の増加が認められる。但し、特損の金額とXの値つまり(従業員)人数 / 売上(十億円単位)の関係は無い様である。

以下に一例をあらわすグラフを表示する。

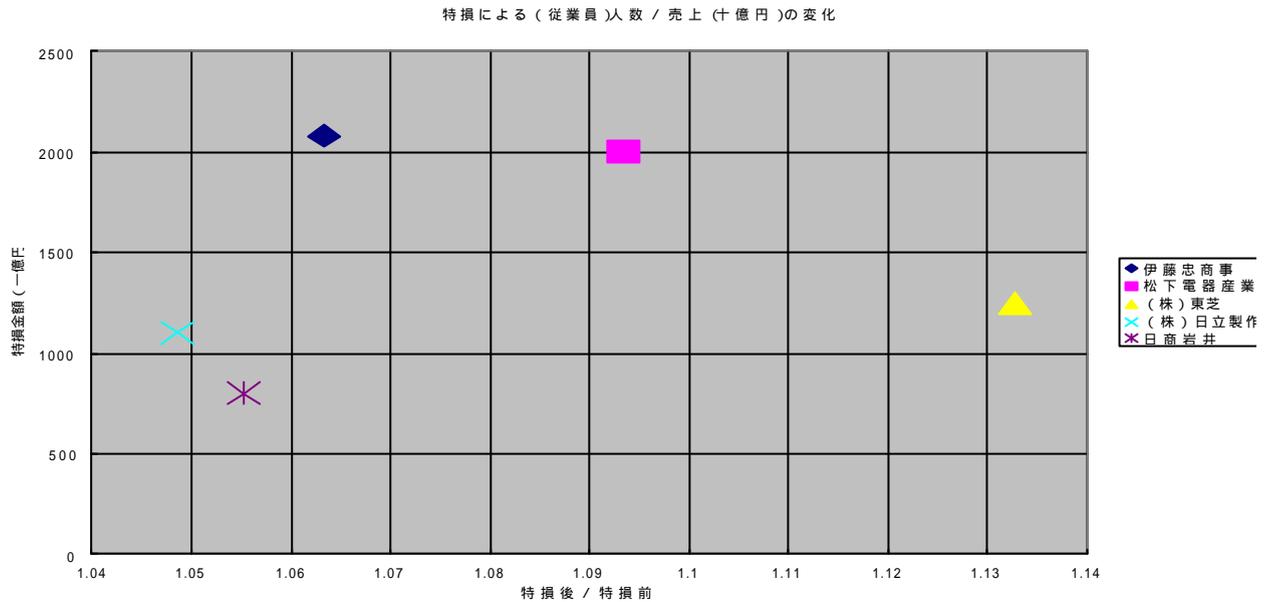


特損による金額と（従業員）人数 / 売上（十億円）の変化割合をグラフにして  
みたもの

である。

やはり、グラフのように金額とXの値、つまり（従業員）人数 / 売上（十億  
円）の

関係は無さそうである。



## 2 為替損、為替得

円高による損を被った企業は以下の通り

00'、01'山之内製薬、NTN、光洋精工、ダイキン工業、川崎重工業、ホンダ

などが挙げられる

円高により得をした企業は以下の通り

00'東京電力

逆に円安により得した企業は以下の通り

02'キッコーマン、塩野義製薬、日本軽金属、同和鋳業、古河機械金属、コマツ、クボタ、日立造船、日産自動車、三菱自動車、リコーなどがあげられる。

円安により損した企業は以下の通り

02'東京ガス、富士重工業、川崎重工業、石川島播磨重工業、(株)ニチレイ

これらのグラフ上の位置の変化を見てみると。

損した企業の一部がグラフの左下へ向かっている。又は上に向かって

いる。  
といった現象がみられるが、これらはあまり影響がないようだ。しかしグラフ上の位置が大きく左に動く日産自動車や石川島播磨重工業のように動きの起爆剤となっているようである。

各点の座標に対する直接的な影響はないようである。

### 3 損益分岐点上の企業

損益分岐点とは損得ゼロの状態の事である

それらに近い、赤字から回復したばかりの企業や堅調な企業は、損益分岐点上存在するはずであり、これらの位置関係から基準値が推測できるはずである。

この条件にあてはまるのは、以下の企業である。

00' 東亜建設工業、メルシャン、味の素、光洋精工、富士通、沖電気工業、松下電工、スズキ

01' ソニー、カシオ計算機、(株)住友信託銀行

02' (株)NTTデータ、(株)横浜銀行、イオン、三井造船

これらの企業のグラフにおける位置を確認すると、大部分はXの値は各分野の突出点を除く平均、またはすべての平均位置に存在している。つまり好不調がない場合のグラフにおける上下位置つまり損益分岐は業界のほぼ平均状態にあり、流動的なものであるといえる。

#### 4 最高益の企業

最高益というのは今までで最高の利益を出している企業のことである。  
(注意、最高利益額であって最高利益率ではない。またインフレによる金額上昇も数十年単位ではあるので、企業がその年までで一番儲かった事とは少々異なる)

これらの企業のグラフ上における位置を確認してみる。

この条件にあてはまるのは以下の企業である。

00'日清製粉、武田薬品工業、古河電気工業、マツダ、リコー、セブン・イレブン・ジャパン

01'エーザイ、古河電気工業、キャノン、リコー、ニコン、伊藤忠商事、横浜銀行

02'味の素、エーザイ、ホンダ、住友商事

これらのグラフにおける位置を確認すると、次の2つの条件の内ひとつ、ないしは2つを満たす。

1. 業界のグラフ内における対象の企業を示すグラフの点の上下の序列変化

2. Yの値の上昇

## 5. 赤字の企業

単純に赤字の企業グラフ上の位置を確認してみる。

この条件に当てはまるのは以下の企業である。

00'住友金属工業、(株)神戸製鋼所、日本軽金属、(株)東芝、富士電機、(株)明電舎、三井造船、日野自動車、三菱自動車工業

01'明治乳業、光洋精工、マツダ

02'(株)神戸製鋼所、古河電気工業、(株)東芝、沖電気工業、松下電器産業、TDK、丸紅、(株)みずほホールディングス、(株)UFJホールディングス、(株)安田信託銀行

これらのグラフにおける位置を位置を確認すると大体は次の2つの条件の内ひとつ、ないしは2つを満たす。

1. $Y > 0$ である、またはそれに近い

2.対象年の次の年においてYの値が急減する

6. 国外で好調な企業

国内で不調、または堅調でも国外で好調な企業つまり外国で稼いでいる企業のグラフ上の位置を確認してみる。

この条件にあてはまるのは以下の企業である

00' (株)熊谷組、住友電気工業、日本精工、(株)不二越、ホンダ

01' 山之内製薬、住友金属工業、(株)フジクラ、富士重工業

02' 日清製油、(株)クボタ、トヨタ、スズキ(株)リコー(株)三井住友銀行

これらの内一部はXの値の減少が次の年になって見られたが半分以上が特に変化はなかった。

国内外による好調不調の変化より全体の変化の方がグラフに出るのは大きいらしい。

## 2.4 グラフ上の位置による各パターンの分類

### 1 グラフ上部にある企業

グラフの上部にある企業、つまり業界内でのYの値が抜きんでて非常に高い企業のことである。

ここであてはまるのは、以下の企業である。

00'東亜建設工業、武田薬品工業、(株)クボタ、TDK、ホンダ、トヨタ自動車(株)セブン-イレブン・ジャパン、東京電力

01'佐藤工業、武田薬品工業、古河電気工業、ダイキン工業、TDK、石川島播磨重工業、ホンダ、トヨタ自動車、(株)セブン-イレブン・ジャパン

02'武田薬品工業、古河電気工業、ダイキン工業、キャノン、石川島播磨重工業、ホンダ、トヨタ自動車、(株)リコー、(株)セブン-イレブン・ジャパン

これらの企業は以下の2つの条件の内1つをみたす

- 1.連続最高益企業等、非常に調子の良い企業である
- 2.底打ち企業など、これから調子の良くなる兆しが見える状況の企業である。
- 3.前の年にこの位置にいた企業

注目すべきは、これらの企業の内大部分のメンバーがある程度固定化していることと、最高益連続更新企業(武田薬品、ホンダ等)だけでない事、減益であってもこの位置にある企業もいることである。

これは歌のランキングのように、いい歌手が歌えば発売当時からオリコン順位が高くなることと、新人でもいい歌があればそれがはやってオリコンの順位が高くなる事に似ている。

## 2. グラフ左側にある企業

グラフ左側にある企業つまりXの値が低い企業である。ここで注意すべきは小業種分類の事である。ここでは同業種のグラフ位置を比較しなければ意味がないのであり、同じ食品会社でもJTと味の素のように異なるものを比較しても意味がない。

よって、左側のポジションに移動した企業を特に探す。

小業種に注意しつつこれらの条件にあてはまる企業を探すと以下の通りになる。

建設 00'清水建設、サッポロビール、アサヒビール、エーザイ、千代田化工

メルシャン 01'清水建設、サッポロビール、アサヒビール、エーザイ、オークマ、

建設 02'ハザマ、サッポロビール、アサヒビール、エーザイ、千代田化工建

それでも、ほとんどのメンバーが固定している。

清水建設、サッポロビール、アサヒビール、エーザイ、千代田化工建設はXの値の変化が異なるが、業界におけるグラフ上の位置関係は同じなので業界事態の変化とみなせる。

よって、注目すべきは01'オークマと01'メルシャンのみとなる。

これはあくまで予測であるが、時系列で見ると、この年には千代田化工建設が赤字である意味再建中であつた、ちょうどその位置を一時的にグラフ上の位置が類似するオークマが占めたという予測は立てられないだろうか。

逆に千代田加工建設と同様に、メルシャンは2000年と2002年は赤字だったのでともとのポジションから移動したと考えられる。

### 3. グラフ右側に移動した企業

小業種分類に注意しながらグラフ右側に移動した企業を探してみると以下の通りになる

00'京セラ

これらの状況を調べてみると京セラは好調であったということだけであった。

これについては原因はわからない2001年に売上が四割増しという事から、のみ想像がつく。

#### 4. グラフ下側の企業

これについては小業種分類を気にしなくて良いが、いかんせんこの位置にいる企業の量が多すぎるのでYの値が0以上で下から一番ビリ、の企業に絞ってみる。

ここであてはまるのは、以下の企業である。

00' 飛島建設、メルシャン、エーザイ、大日本製薬、住友金属工業、三菱マテリアル、千代田化工建設、(株)明電舎、三菱自動車工業

01' (株)熊谷組、アサヒビール、塩野義製薬、住友金属工業、日本軽金属、オークマ、(株)明電舎、日野自動車

02' (株)熊谷組、メルシャン、山之内製薬、(株)神戸製鋼所、住友金属鉱山、(株)日本製鋼所、三菱電機、三菱自動車工業

これらの企業を見て見ると 連結黒字、回復、経費削減、赤字回復できずという単語が目立つ。

つまり、損益分岐より下から上への変化、または数値合わせして黒字にすると いった、"なんとか黒字、失敗して赤字"の企業が多い。

財閥系の企業が含まれているのも注目すべき点である。

まとめてみると、以下の通りになる。

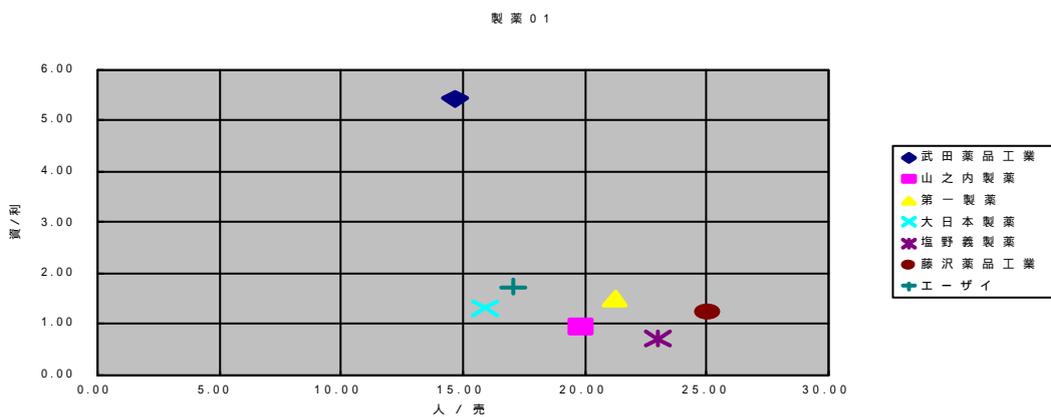
グラフ上部に位置する企業は以下のうちいずれかを満たす。

1. 連続最高益企業等、非常に調子の良い企業である
2. 底打ち企業など、これから調子の良くなる兆しが見える状況の企業である。

グラフ下部に位置する企業は“なんとか黒字、失敗して赤字”の企業が多い。財閥系の企業がかなり含まれている。

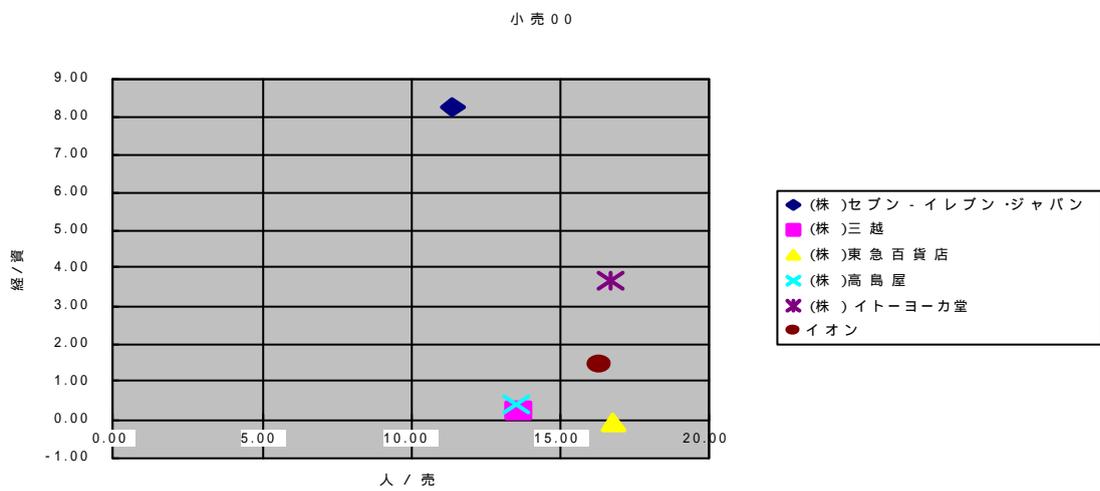
以下にその一例を示す。

グラフ上部の企業（武田薬品工業、2001年エーザイ）、下部の企業（塩野義製薬）



武田薬品工業	絶好調	主力好調	特損減少	特益あり
エーザイ	最高益	主力続伸	海外好調	リストラ特損相殺 138
塩野義製薬	営業増益	主力続伸	リストラ特損あり	経費拡大

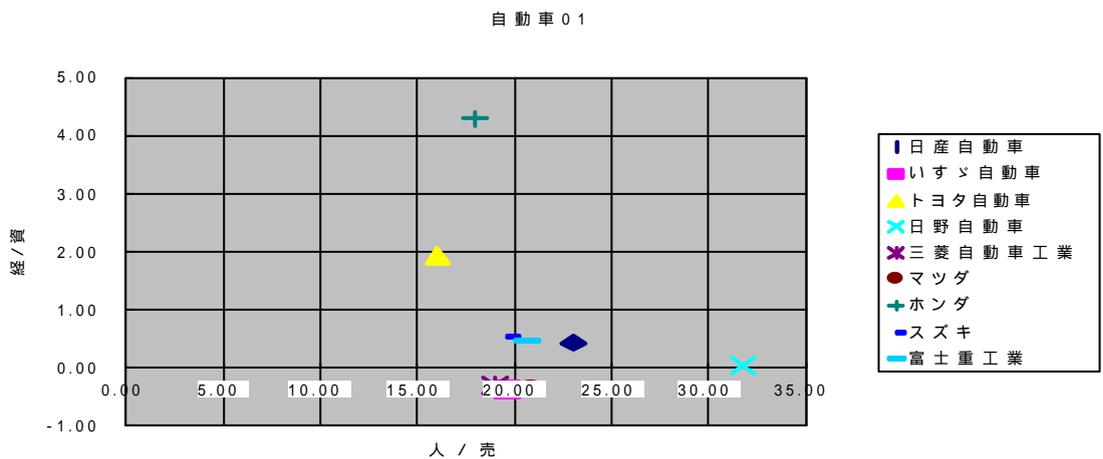
### グラフ上部の企業（セブン - イレブン・ジャパン）



(株)セブン - イレブン・  
ジャパン 最高益更新

粗利増

### グラフ上部の企業（ホンダ）、下部の企業（日野自動車）



日野自動車  
ホンダ

営業減額  
絶好調

子会社不調  
主力1好調

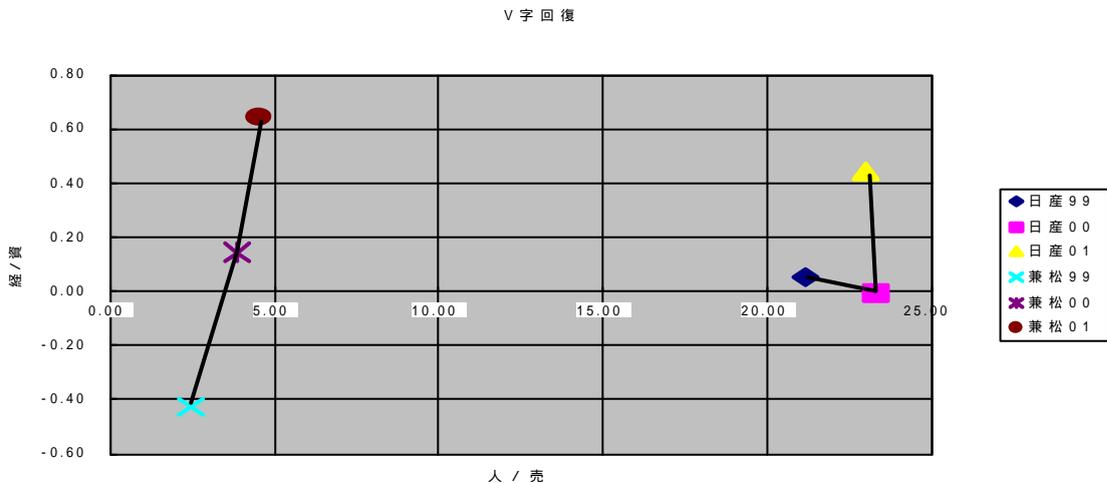
海外堅調

## 2. 5時系列におけるグラフ上の各軌道からの分析

特殊な軌道を描いて移動する企業を以下にまとめてみた。

### 1 V字回復

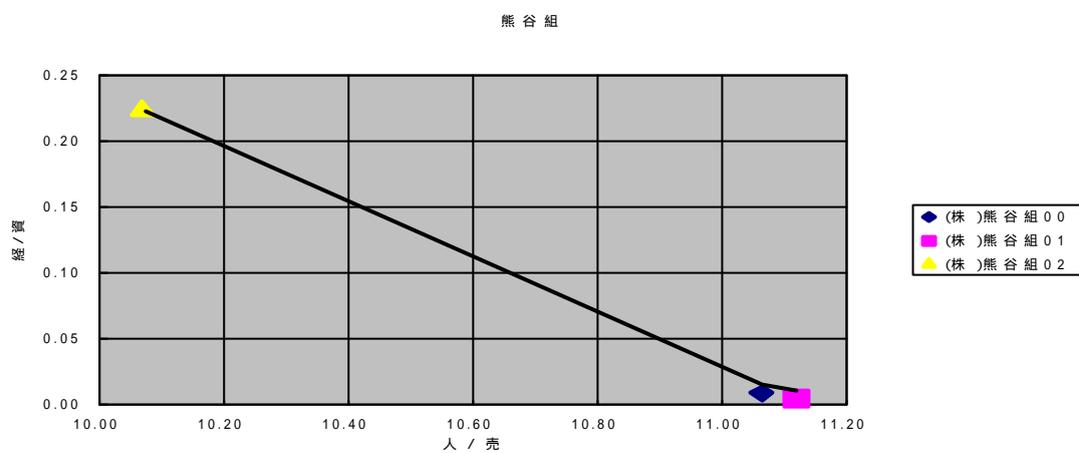
V字回復の兼松と日産自動車、特に日産のグラフを見ればわかる通り、2社が回復するまでに、右回りの起動を描いていることが確認できる。兼松のV字が鈍角なのは同じV字回復でも売上のみでの回復であるからと、大業種基準値自体が低いいためその割合も少ないからであると推測される。前項目における特損の条件とあわせると、莫大なリストラ特損が生ずるため、一旦、大業種基準線に対し右周りの起動を描くことが推測される。



## 2 熊谷組

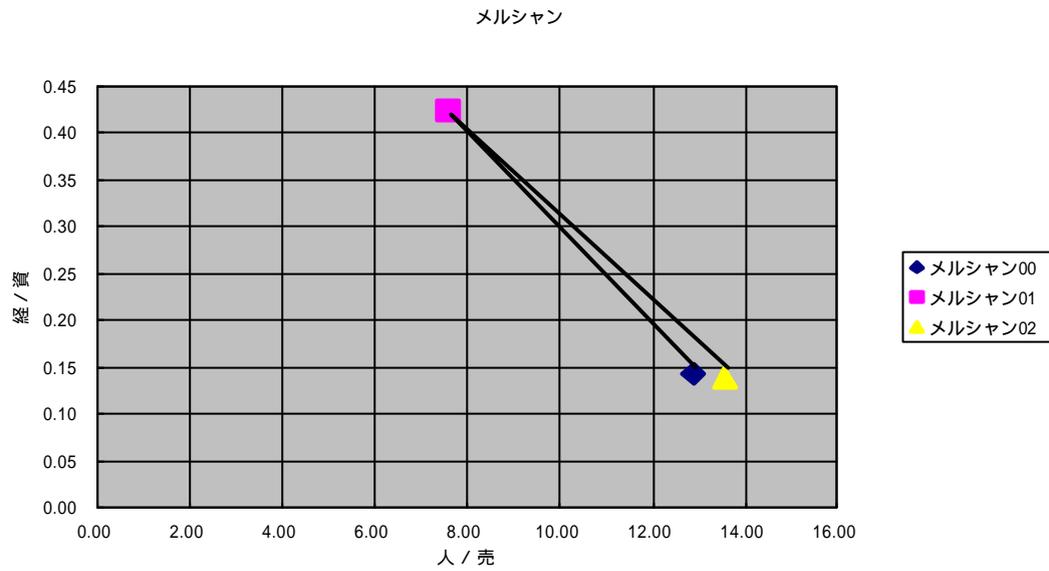
債務免除による異常な回復をしている熊谷組の軌道はグラフの通りである。

やはり、2001年の4500億円の債務免除が効いているといったところであろうか。



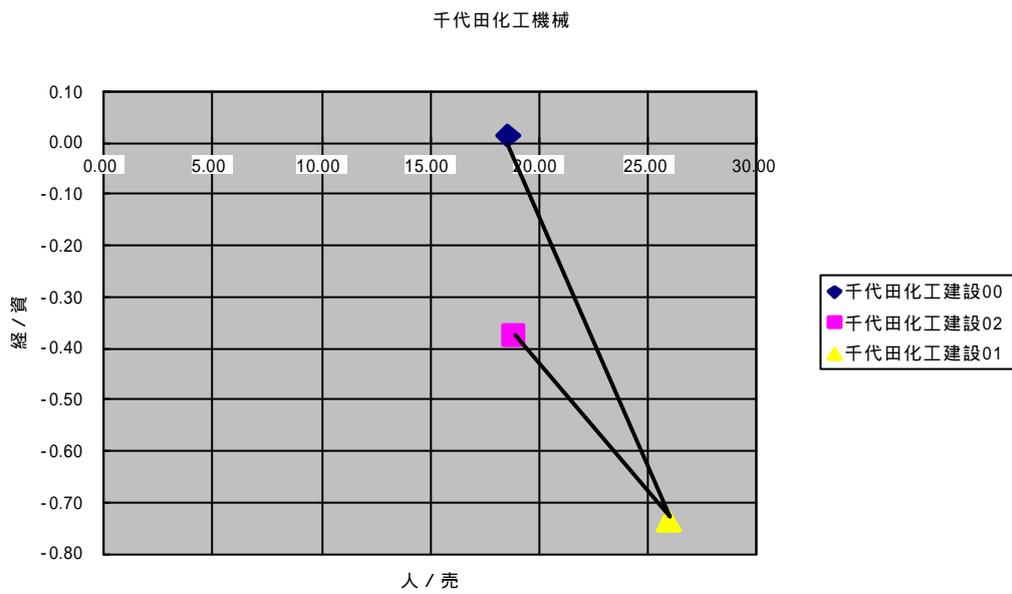
### 3 メルシャン

業務成績は今ひとつだが赤字がない点を記憶する必要がある。  
グラフのみから判断すると回復軌道に今ひとつ乗れてないようである。



#### 4. 千代田化工建設

2000年に採算改善しながらも、2001年は苦戦、2002年は損益0である

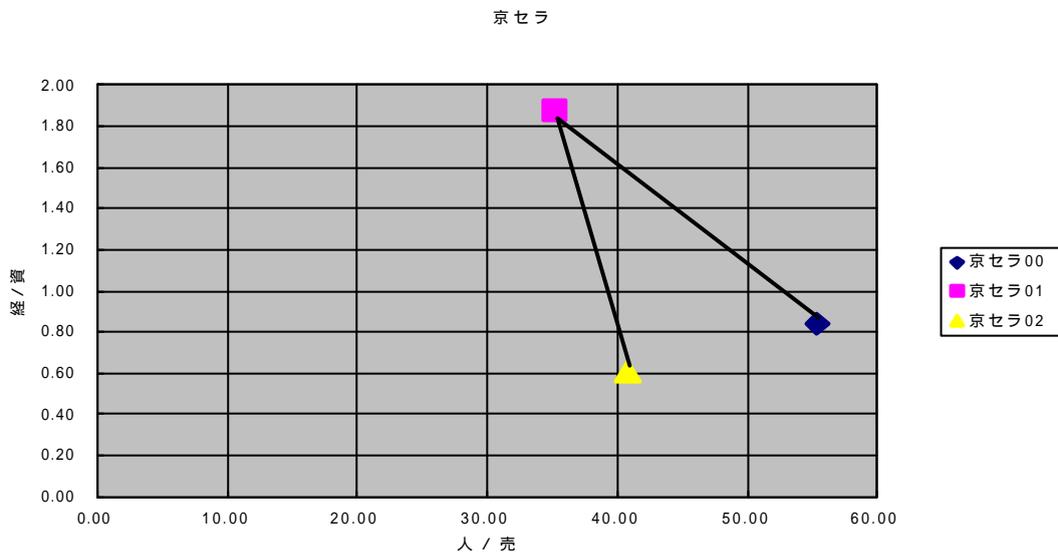


## 5. 京セラ

メルシャンと同系のカーブを描いている

状況は各年、増益、増額、下方修正といったところである。

やはりグラフ位置の上下動は売上によるところが大きいところであるようだ。



### 3 結論

結論をまとめると以下の通りである

1.従業員人数 / 売上高 (1 億円) を X 軸に取り、経常利益 / 資本金を Y 軸に取った場合その位置の表示は以下の式によって表される。

損益分岐基準値を L、企業序列を M、経営状態を N とし、大業種基準値を R、小業種補正值を S、特損を T とすると

$$X = F ( R , S , T )$$

$$Y = G ( L , M , N )$$

が成り立つ。

(但し、L は各業界の平均値つまり  $L = F ( Y_1 , Y_2 , \dots , Y_n )$  ) )

2 . V 字回復のグラフに見られるように、企業はリストラにとって悪化から好転に至るプロセスにて、グラフにおいてその企業における 2 本の基準線の交点つまり  $( X , Y ) = \{ F ( R , S ) , F ( L ) \}$  を右回りに描きながら上昇する。

また、債務免除によるものは熊谷組の様に、左側から回復する。

## 4 謝辞

ご指導をいただいたうえ、参考資料まで貸していただいた長尾教授と、卒業研究について励ましていただいた高知工科大学知能機械システム工学科の諸先生がたに感涙の思いでお礼を申し上げます。

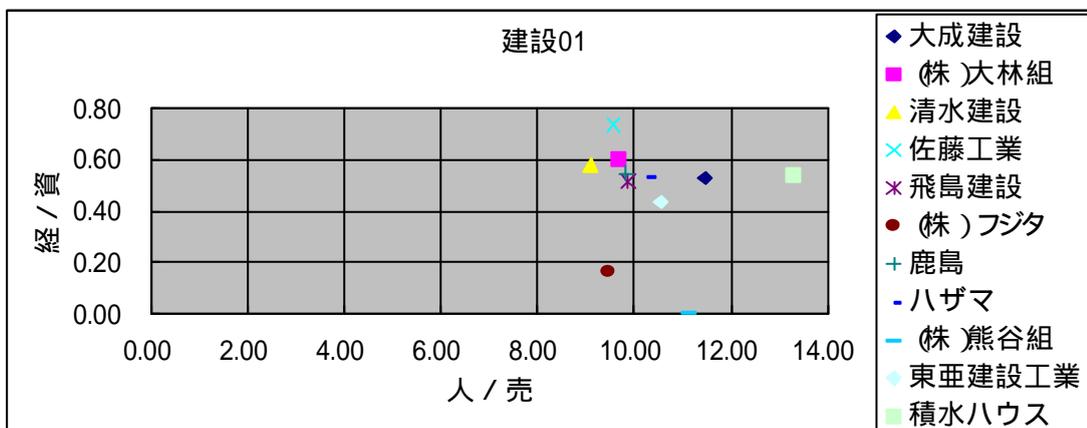
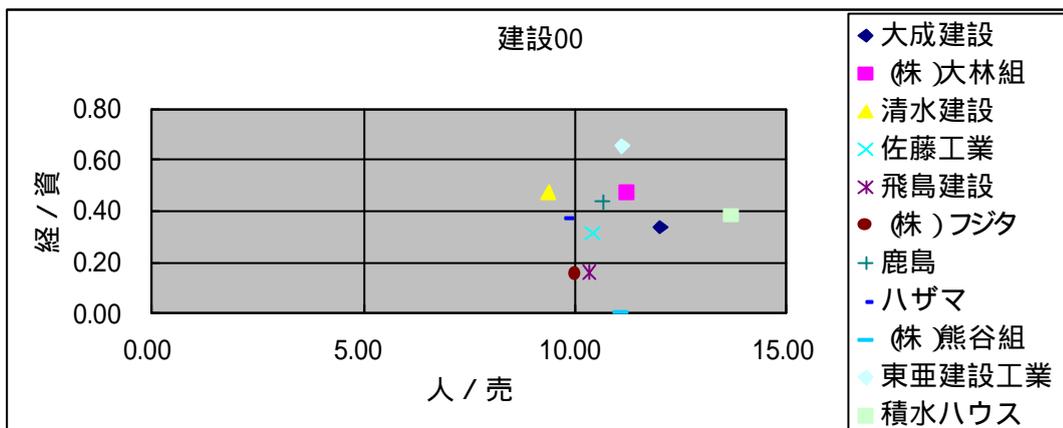
## 5 参考資料

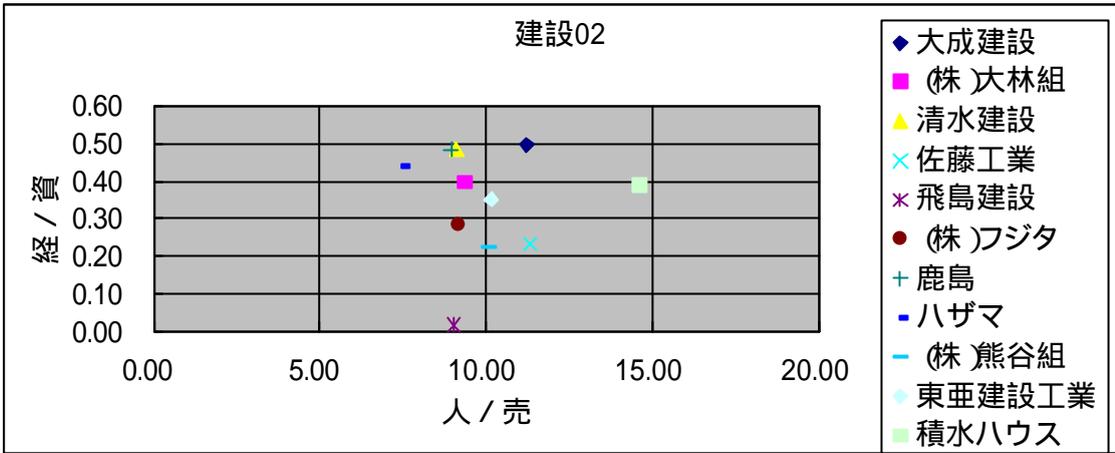
四季報 2002 年新春号 東洋經濟新報社  
四季報 2001 年新春号 東洋經濟新報社  
日經会社情報 CD-ROM 日本經濟新聞社  
日經会社情報 CD-ROM 日本經濟新聞  
日經会社情報 2001 年新春号 日本經濟新聞社

その他調査結果、二次資料等

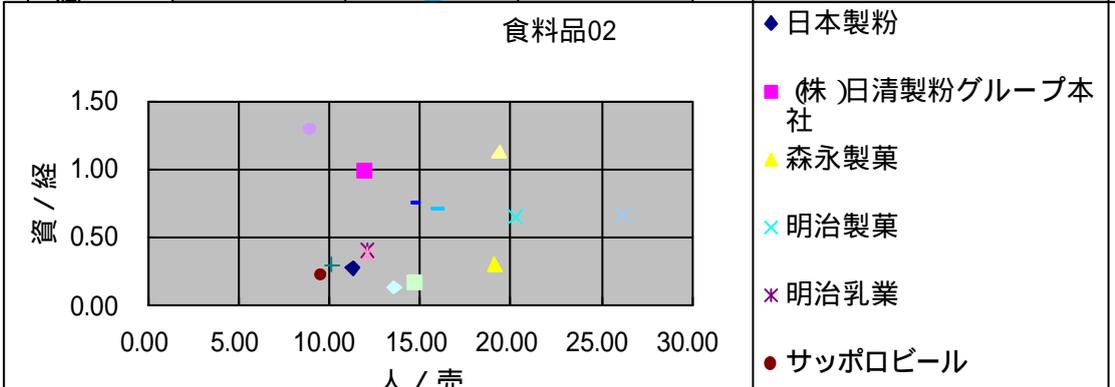
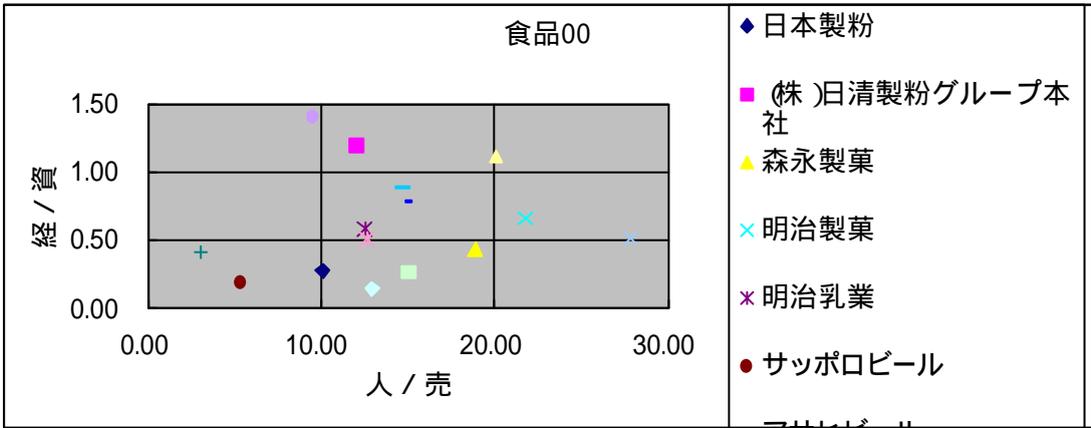
各業界の財務指標からなるグラフの表示

## 建築業界

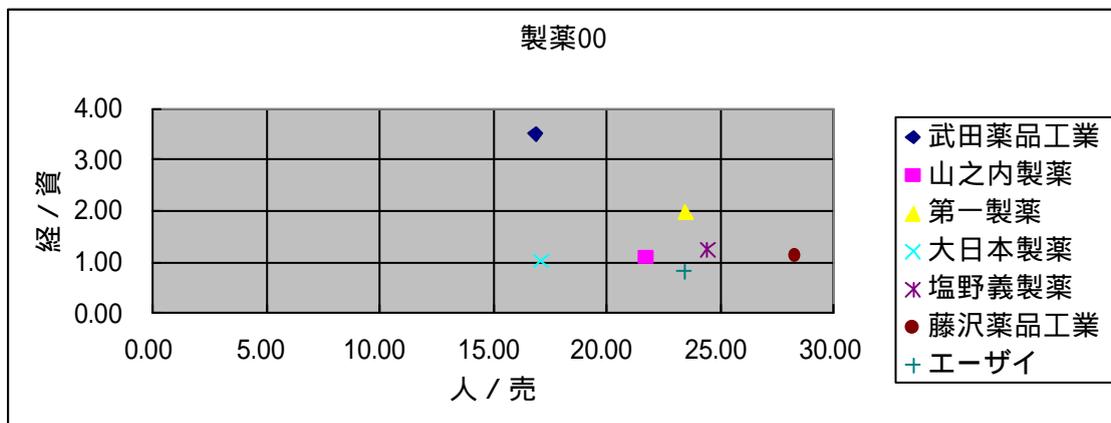
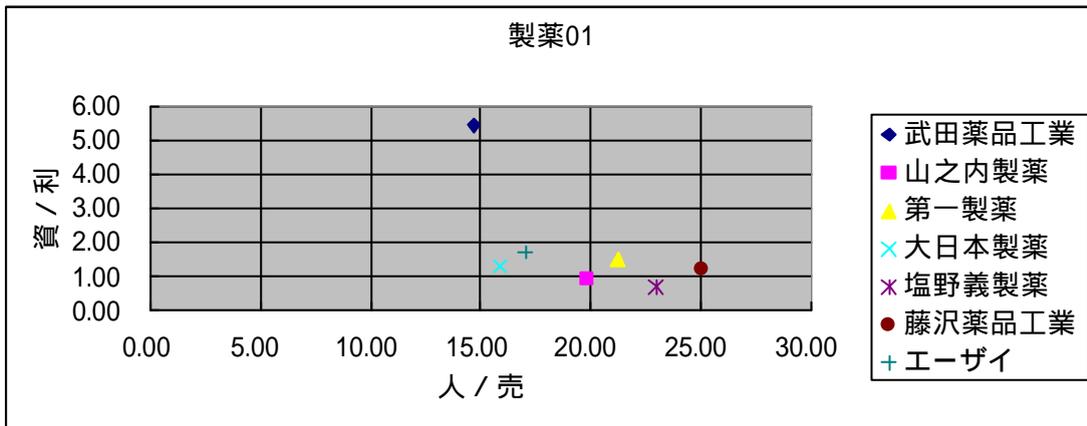
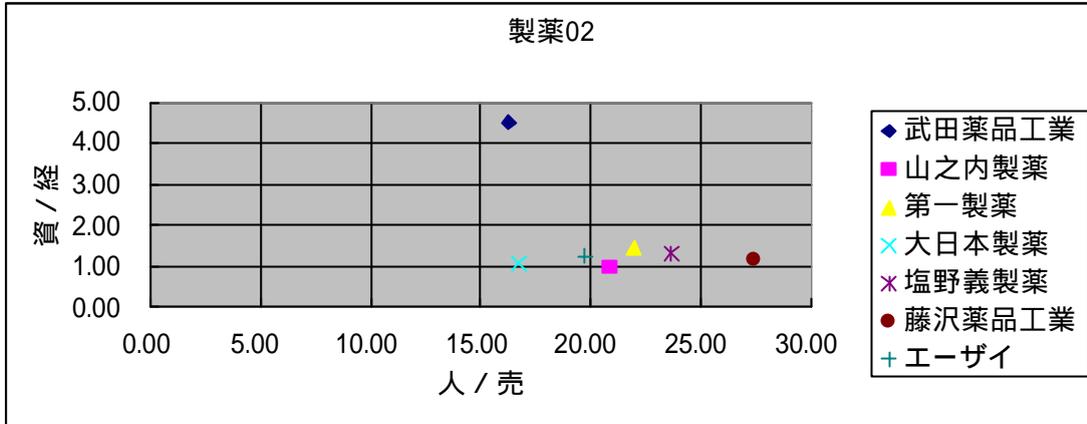




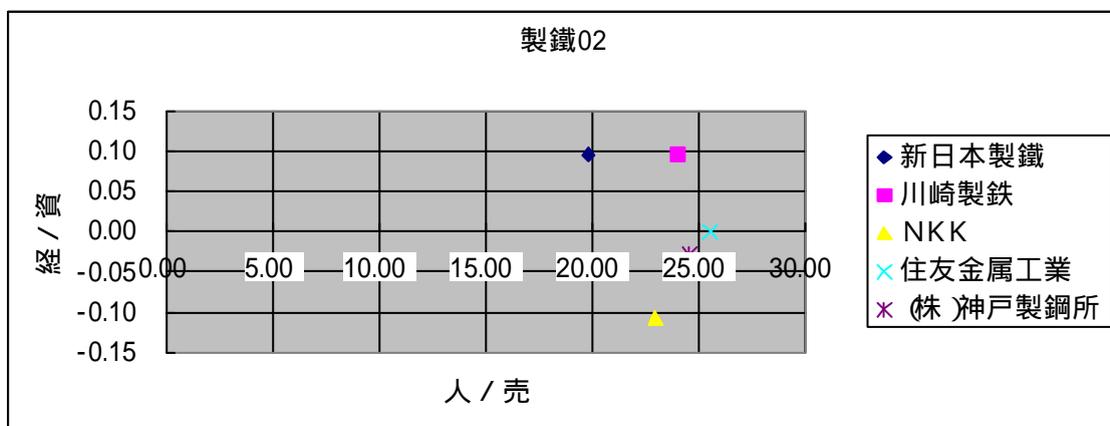
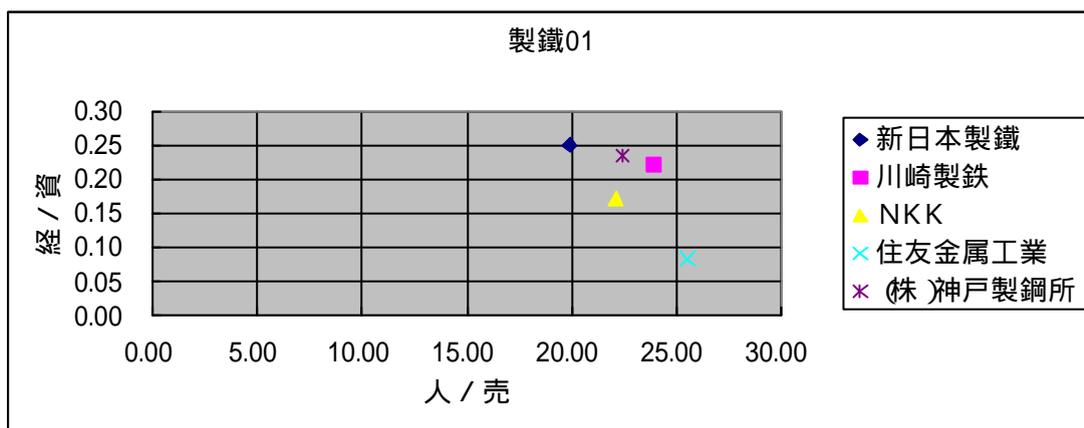
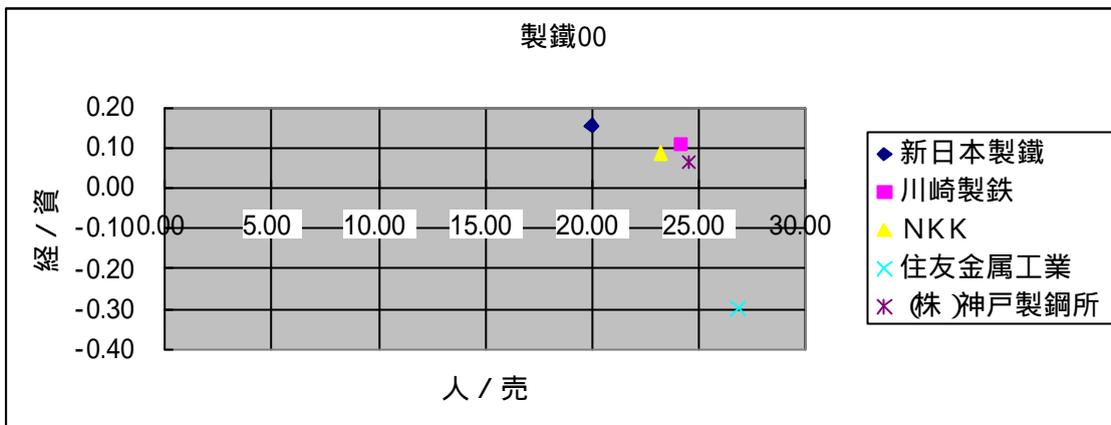
**食料品業界**



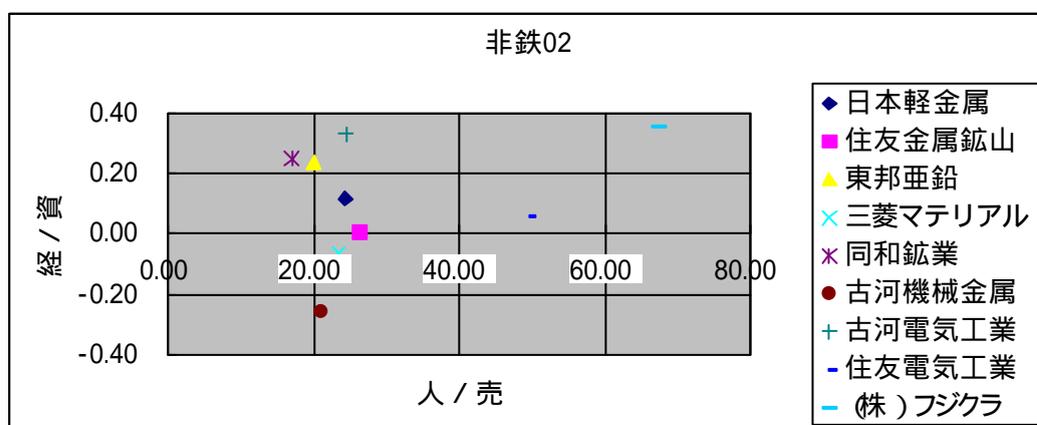
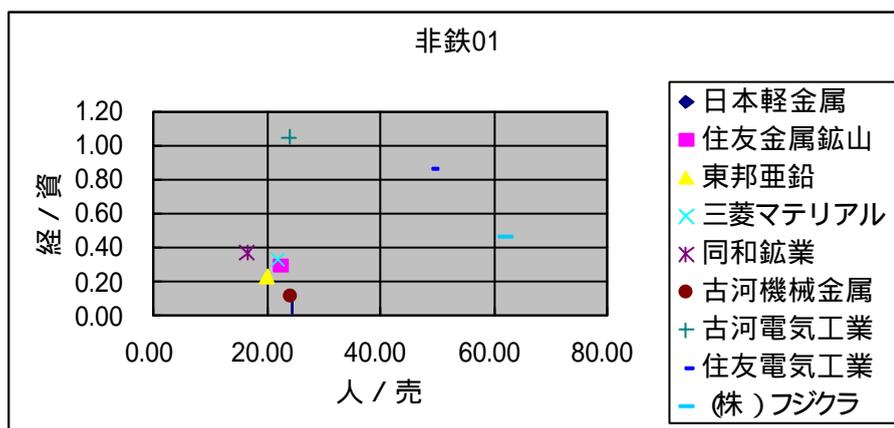
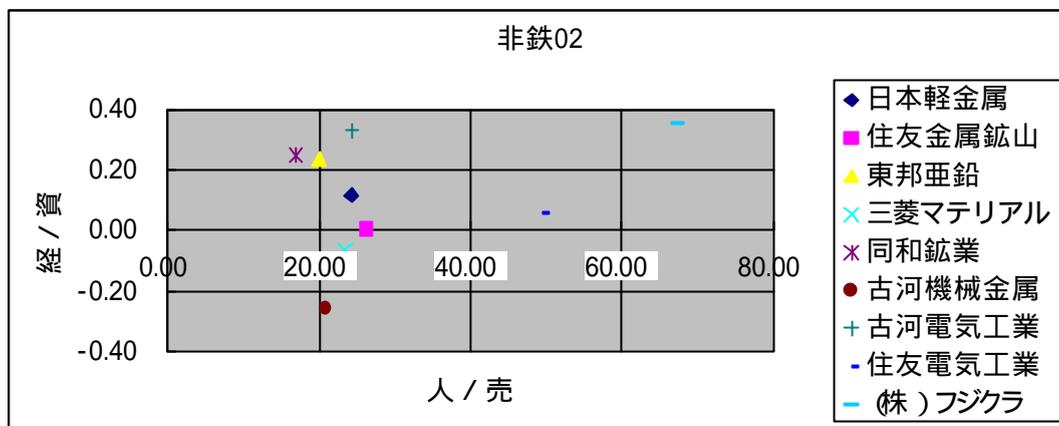
# 製薬業界



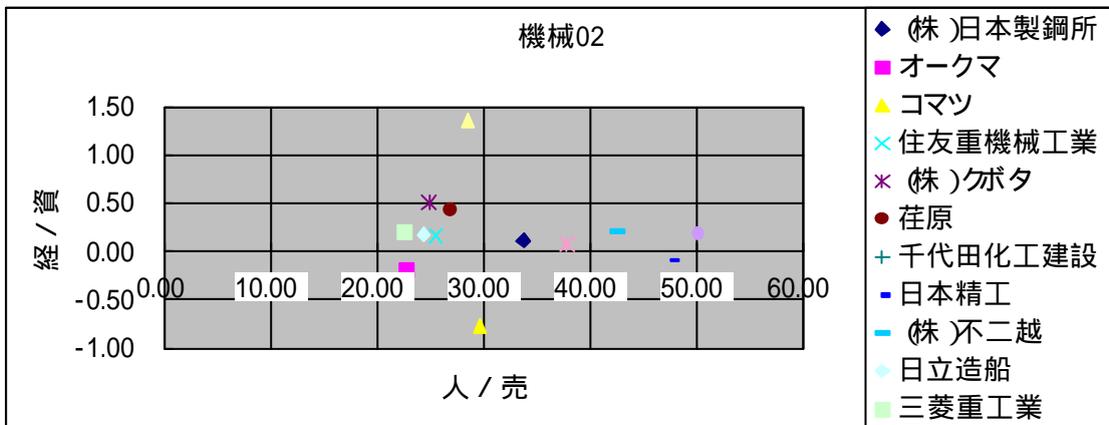
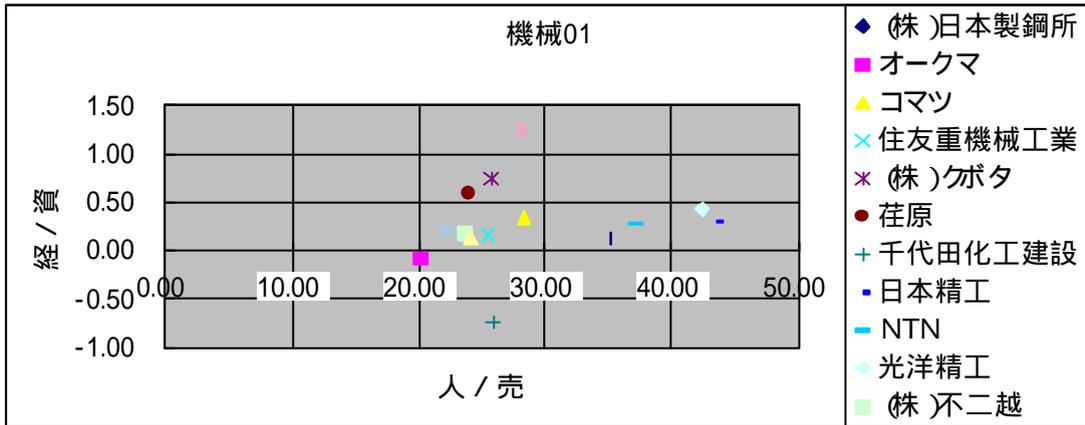
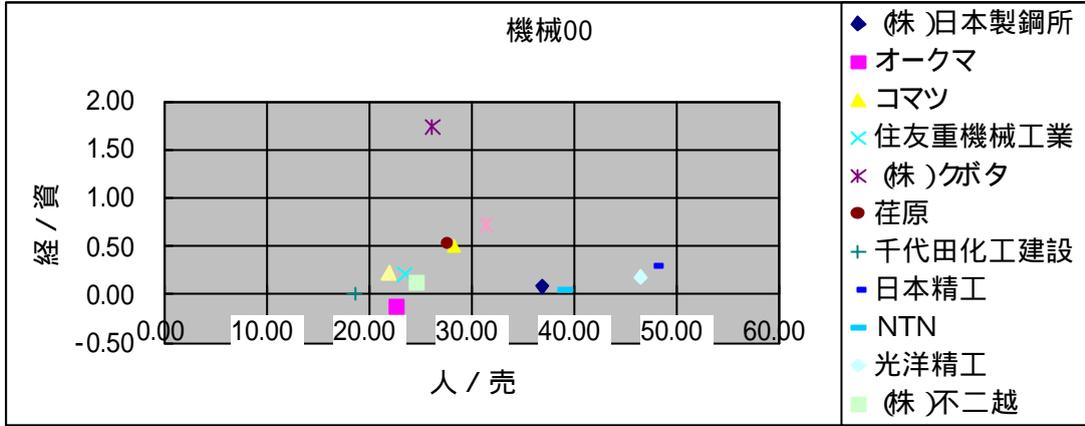
# 製鉄業界



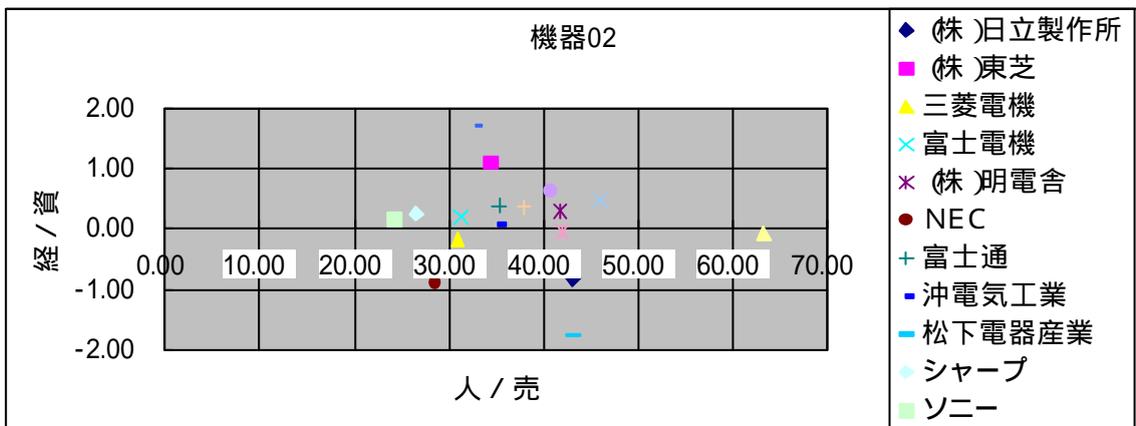
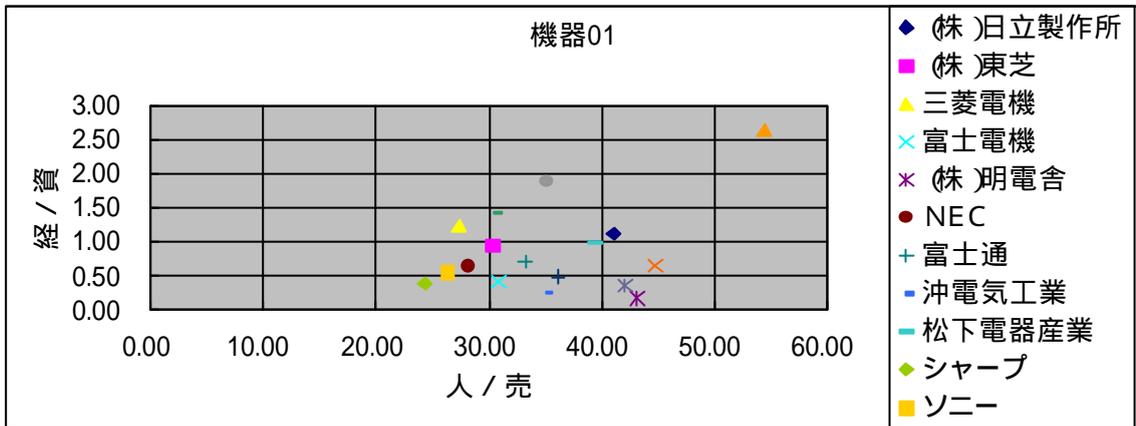
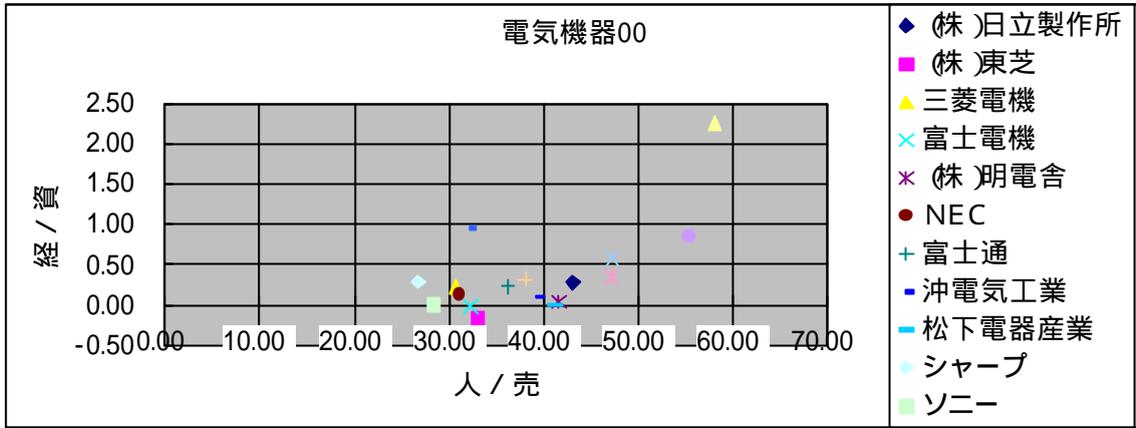
# 非鉄業界



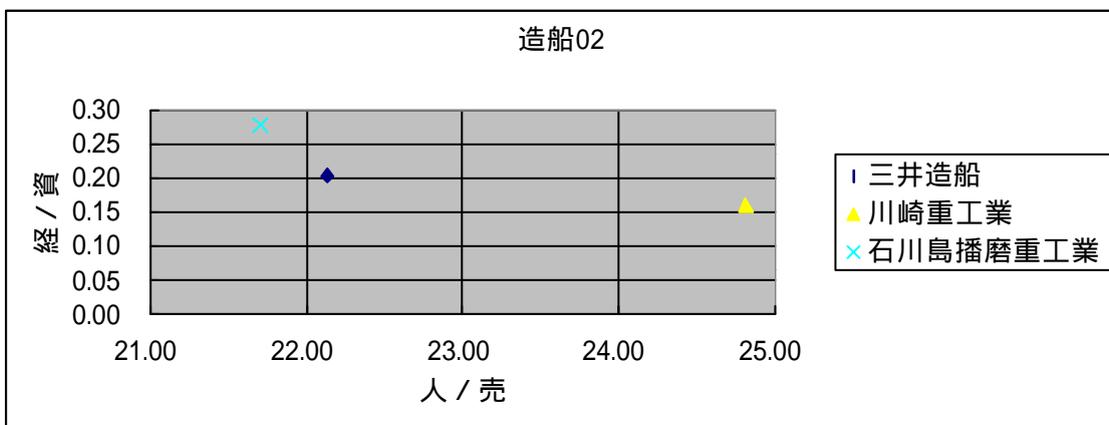
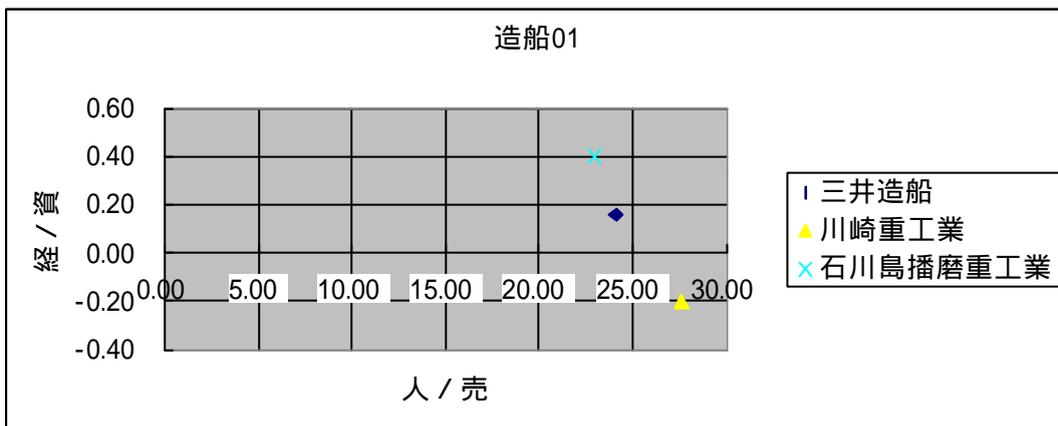
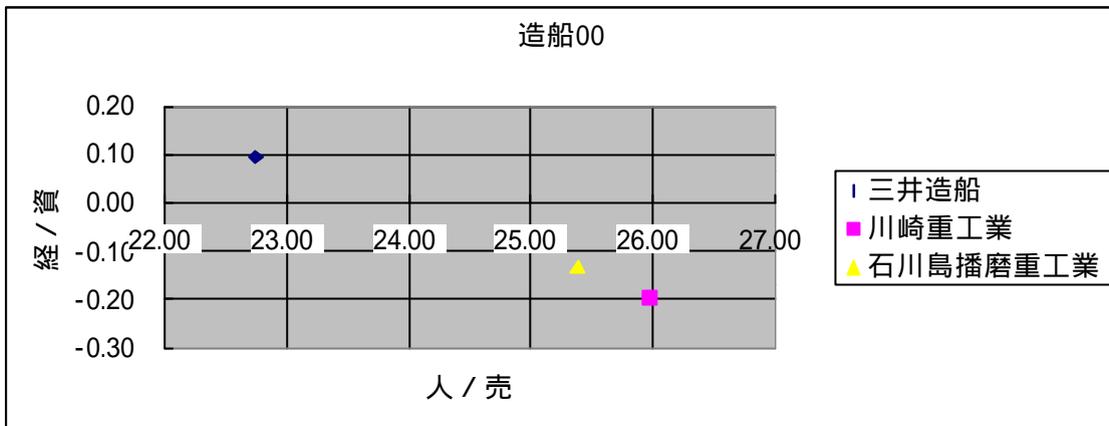
# 機械業界



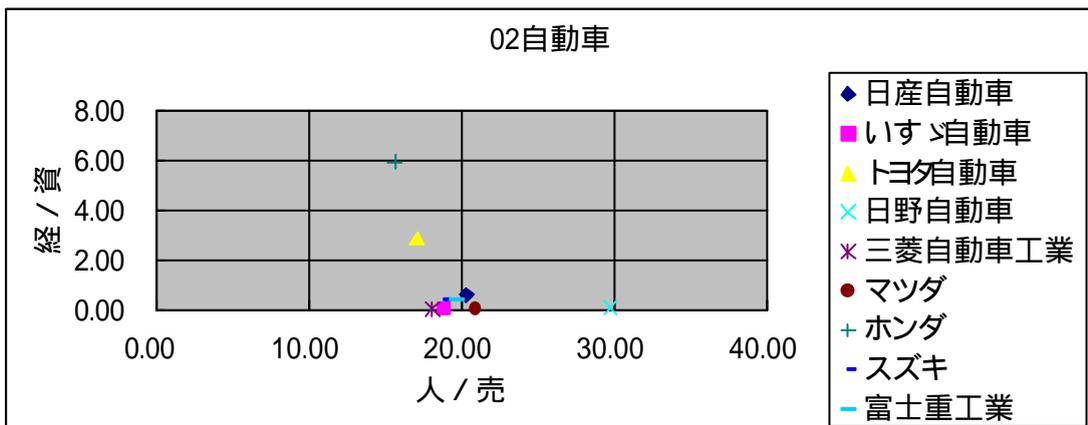
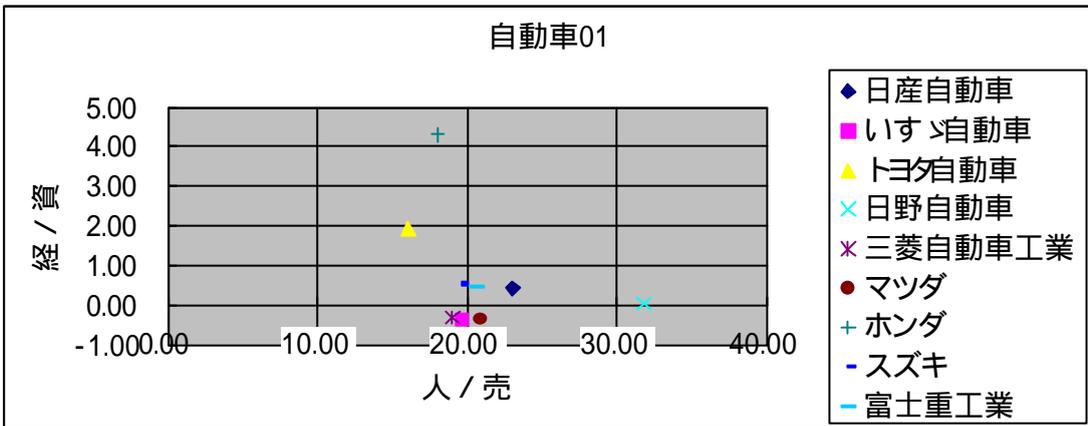
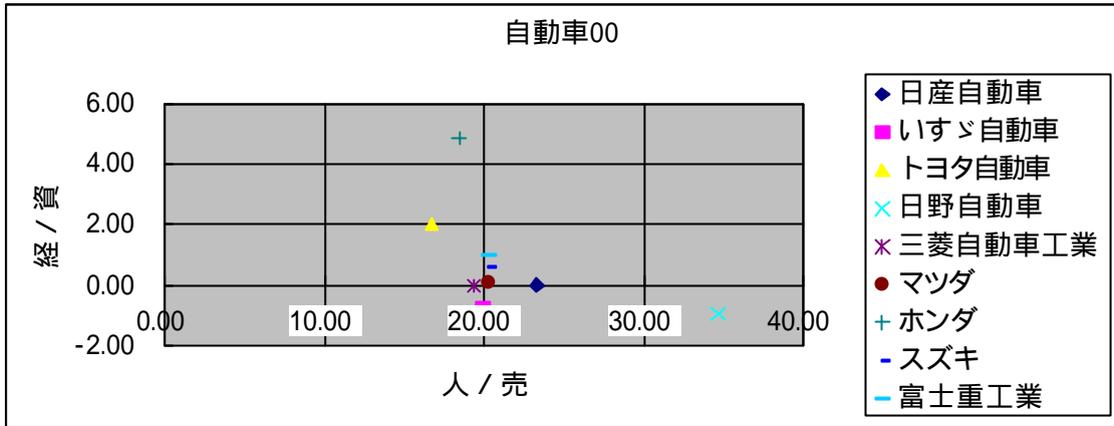
# 電気機器



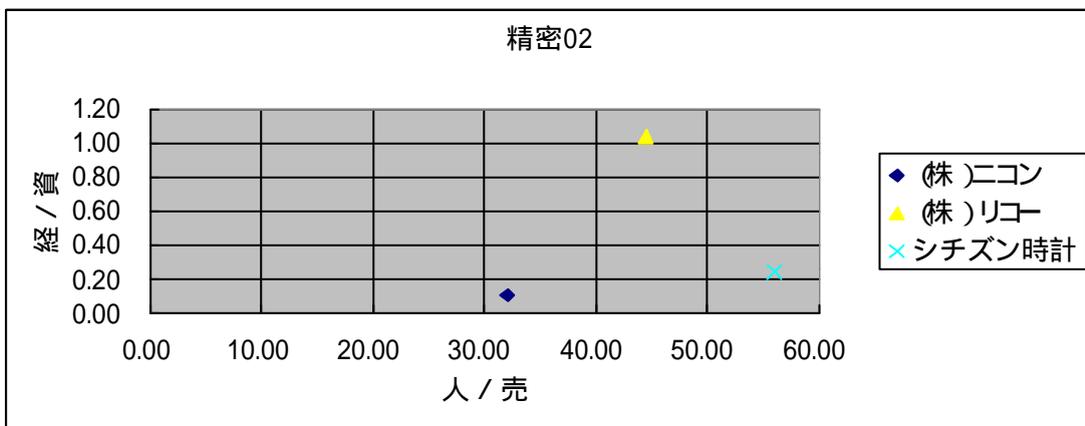
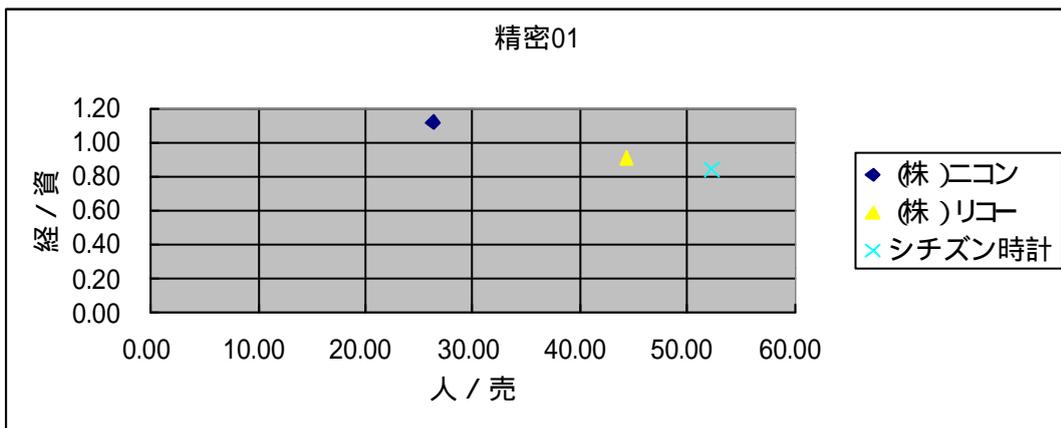
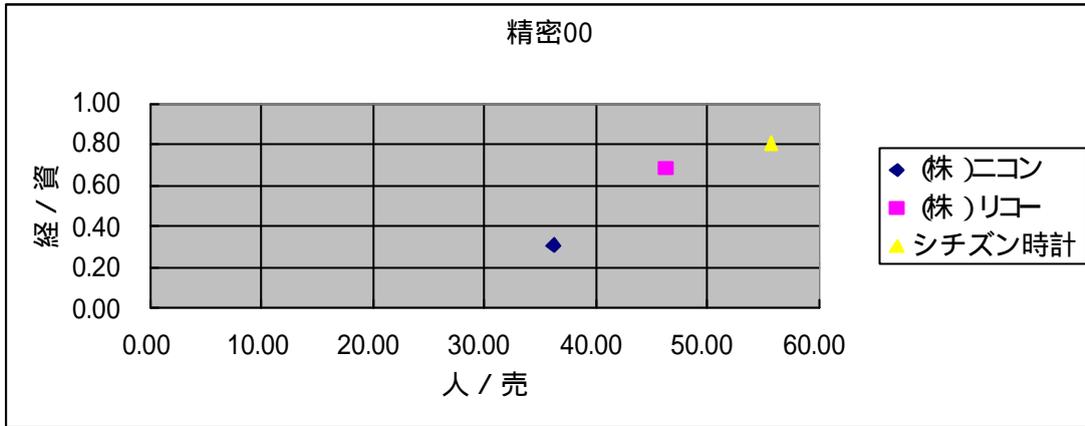
# 造船業界



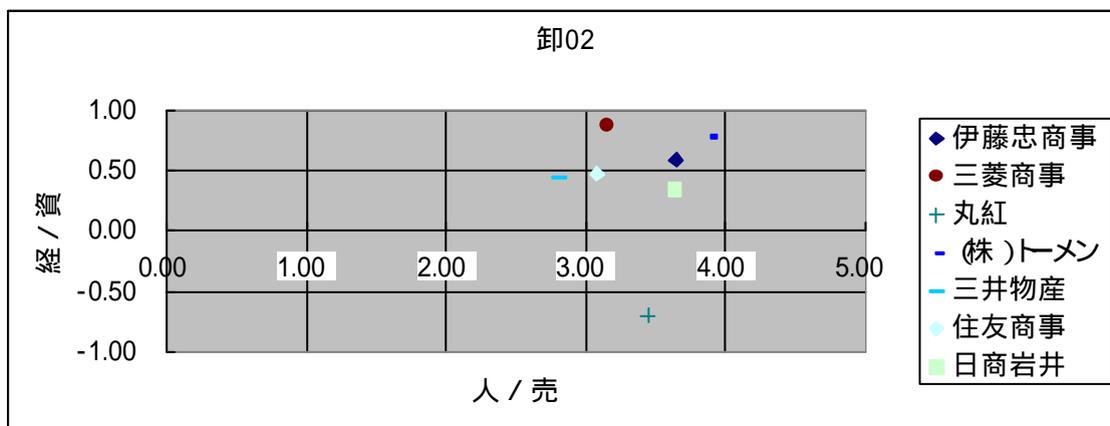
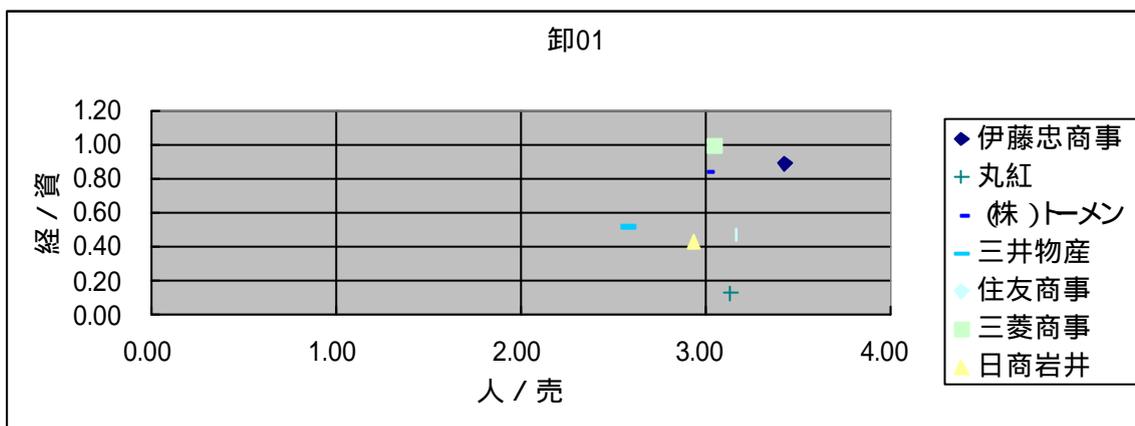
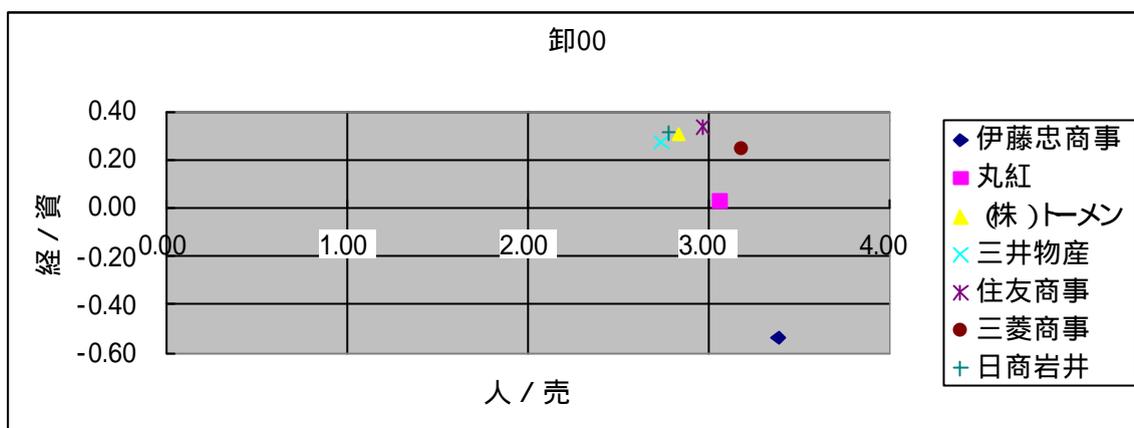
# 自動車業界



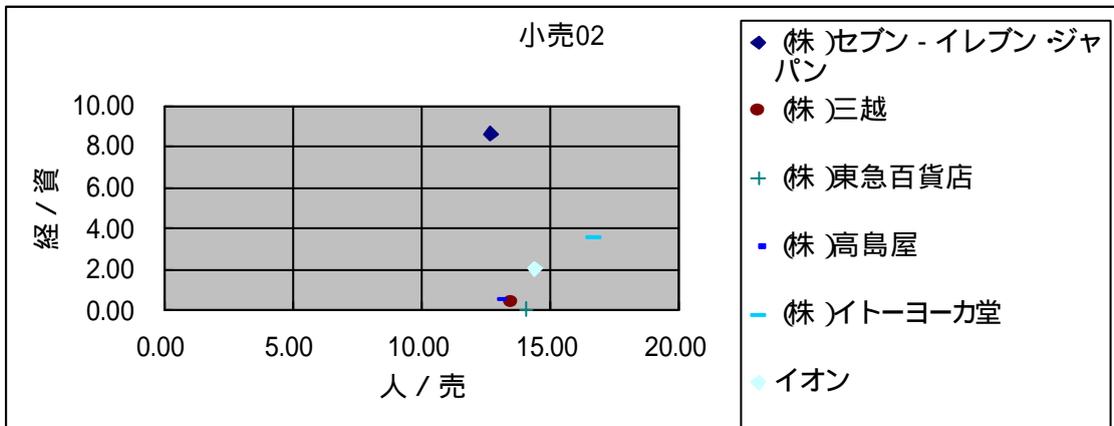
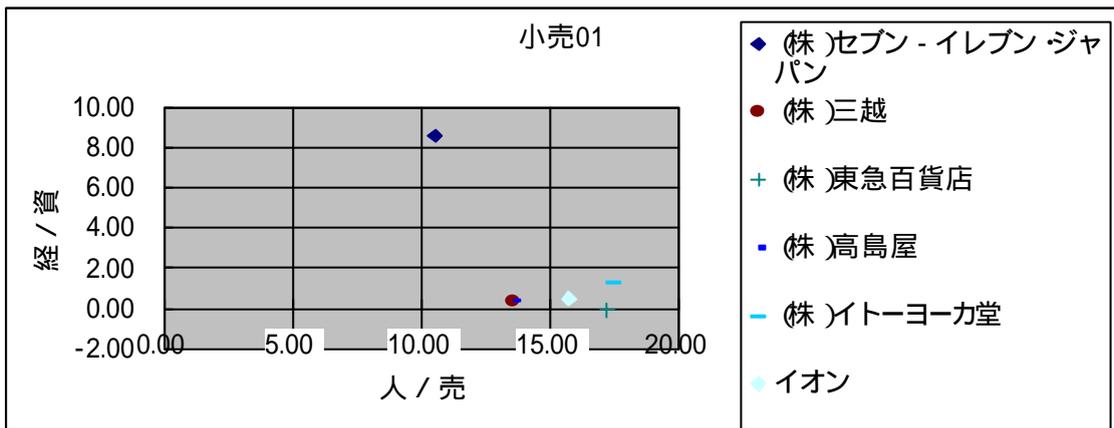
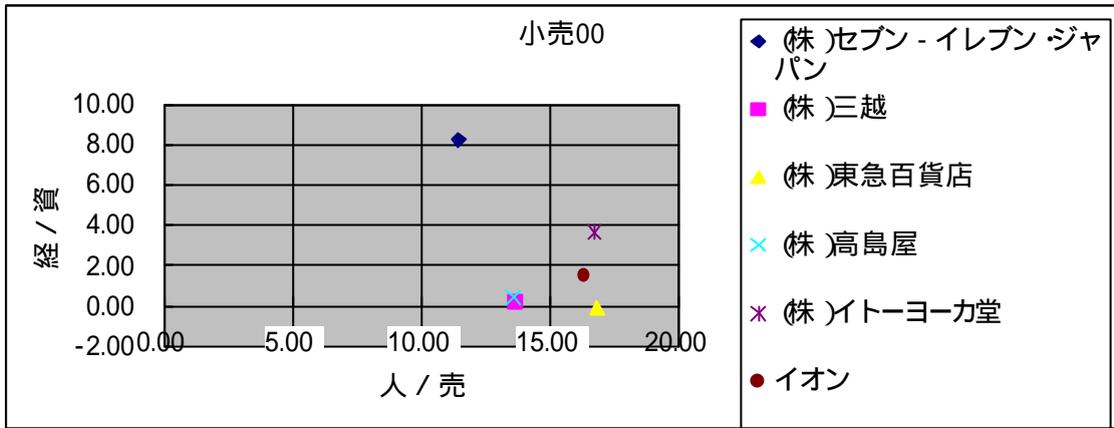
精密機器



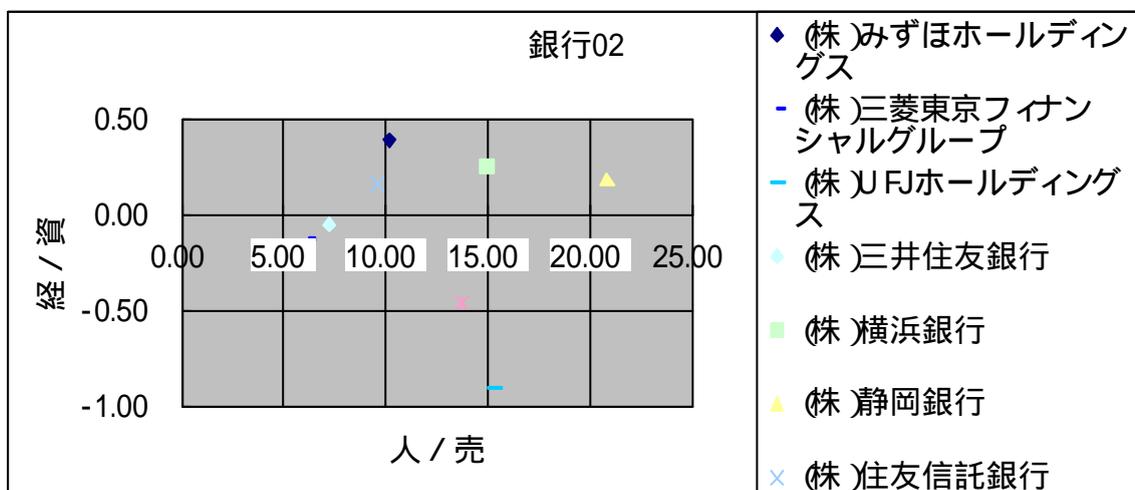
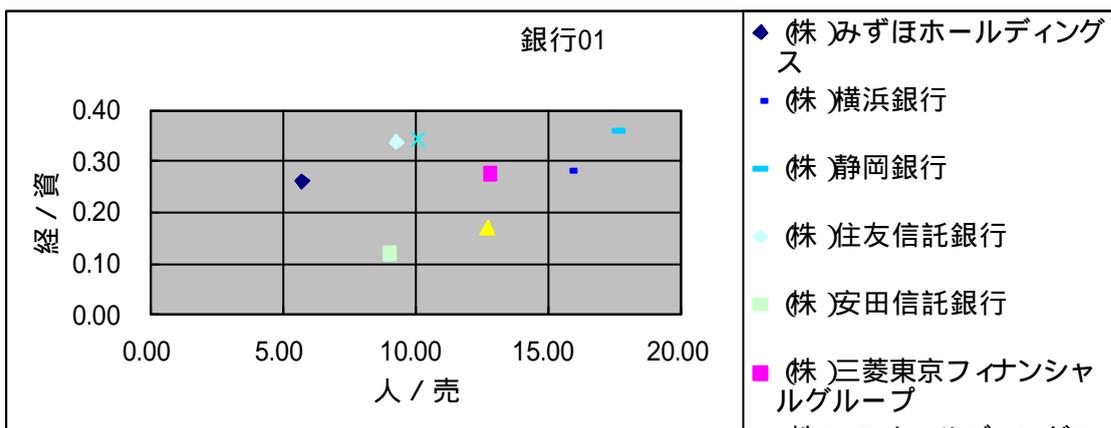
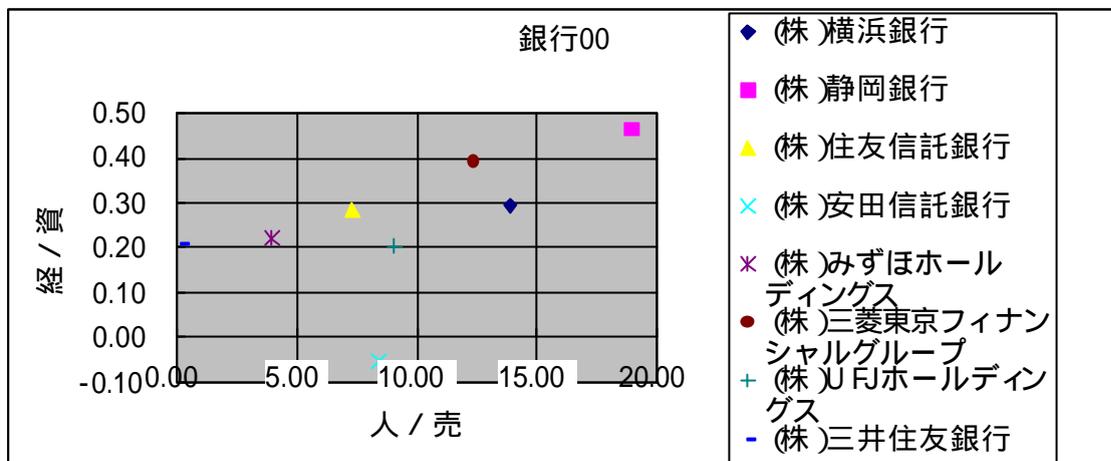
## 卸売り（総合商社）業界



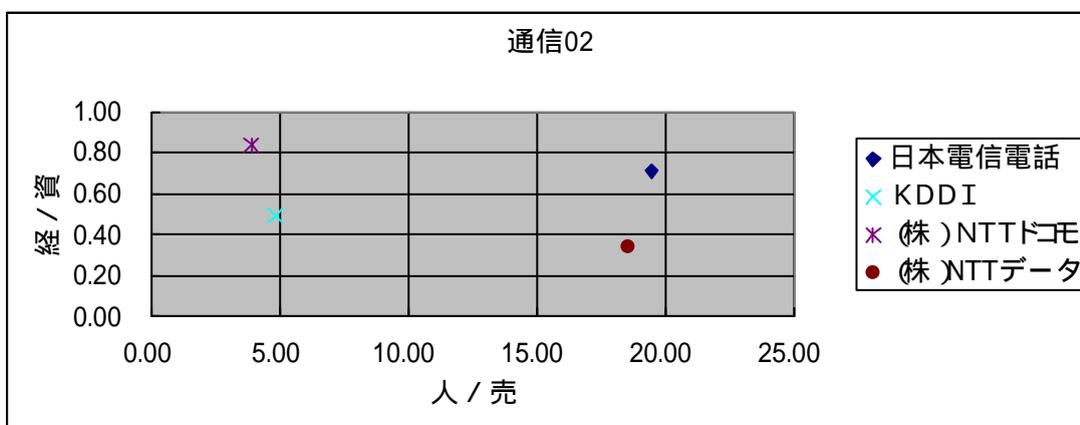
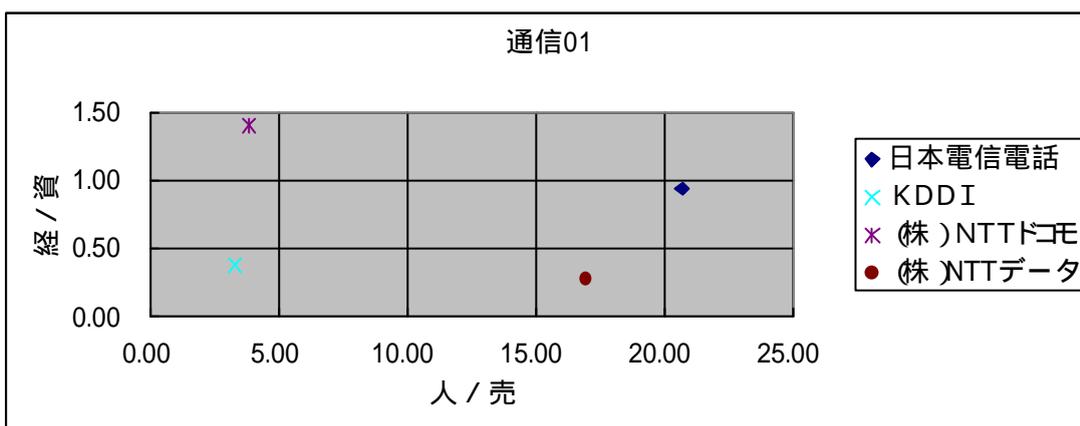
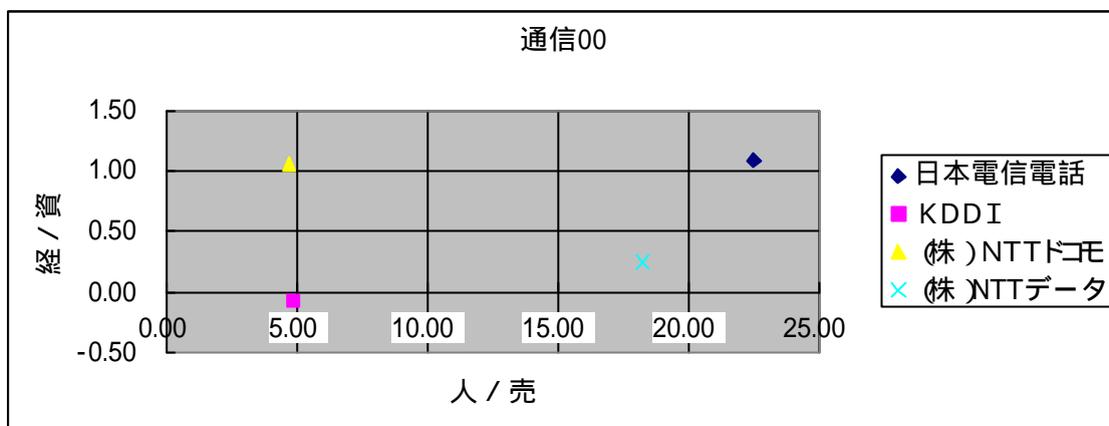
# 小売業界



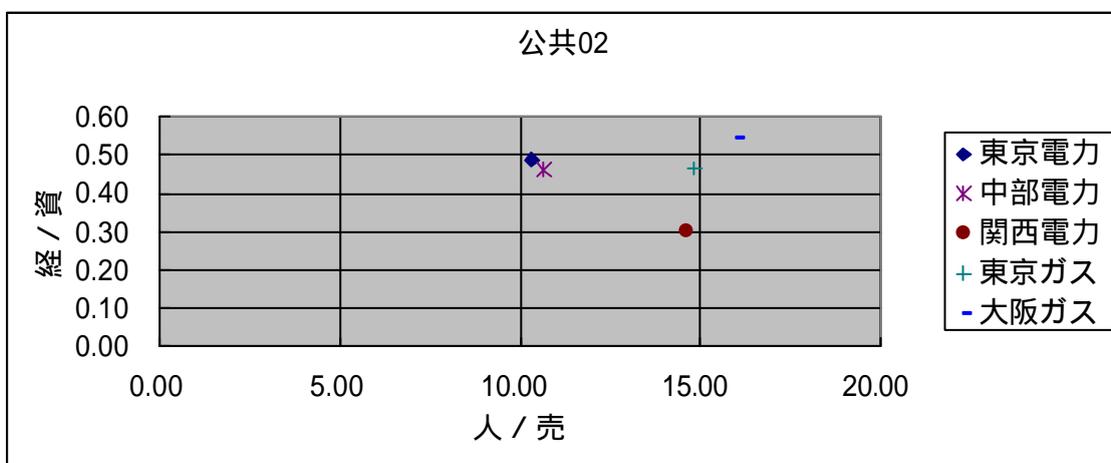
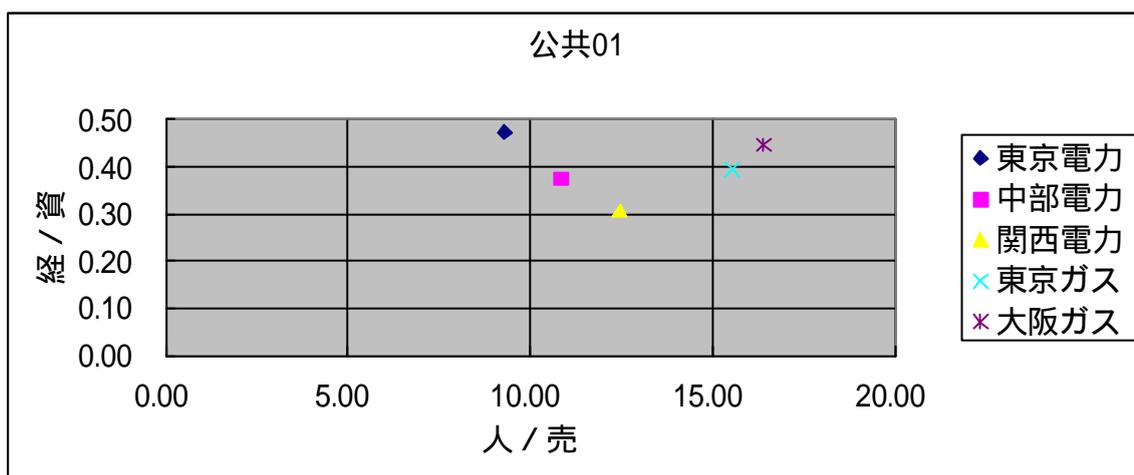
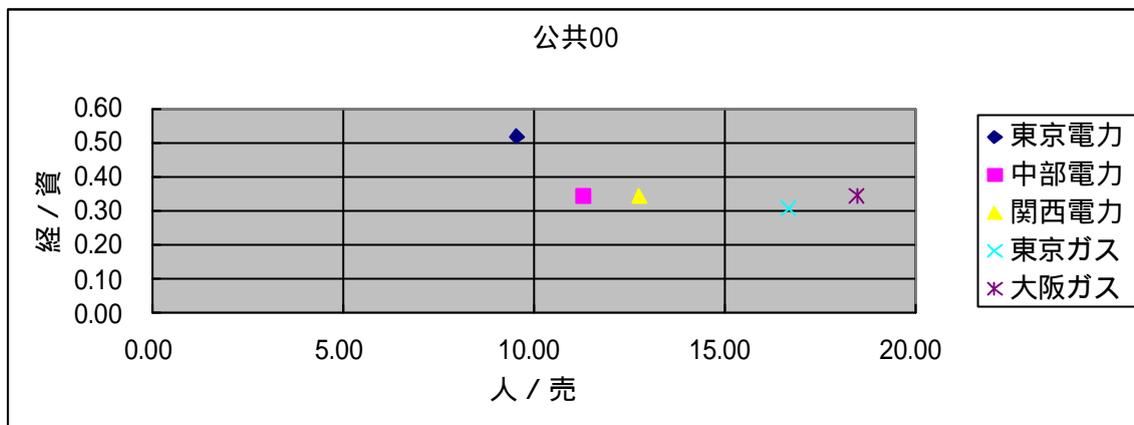
# 銀行



# 通信業界



# ガス・電気会社



# 各企業の一言状況表示

2000年の状況表示



会社名	状況	主力1	海外	円安 / 円高	円高 / 円安	リストラ	特損	特損	経費	その他
(株)日本製鋼所		主力落ち込み		円高 -				特損あり		
オークマ	最終赤字	国内不調	国外不調					特損20	合理化13	
コマツ	連結最終	主力好調		円高 -					合理化	
住友重機	建機苦戦	主力好調							経費横ばい	
(株)クボタ	官公需不	主力微減						国外特損	経費減	
荏原	連結最終	主力黒字								
千代田化	採算改善							特損相殺	コスト減	リストラ効果
日本精工	連結黒字	国内不調	国外黒字	円高 -		リストラ	特損相殺			
NTN	苦戦続く	国内減収	国外大幅	円高 -						減収減益
光洋精工	回復鈍い		海外好調	円高 -						黒字
(株)不二越		国内低迷	国外好調						経費削減	
日立造船	新船受注							特損相殺		黒字
三菱重工業		主力不調	国外不調	円高 -		リストラ	特損350		合理化	黒字
ダイキン	連結増益	主力不調		円高 -						経常赤字1200
ミネベア	連結経常	主力好調		円高 -				特損減200		
(株)日立	半導体回	主力好調		円高 -					コスト減	最終黒字
(株)東芝	最終赤字	主力苦戦						特損1100		
三菱電機	リストラ効	主力堅調							経費削減	
富士電機	連結最終	主力苦戦							経費削減	
(株)明電	最終赤字	主力不調				リストラ	特損あり		経費削減	
NEC	半導体回	主力回復				リストラ	特損相殺1000			
富士通	回復鈍る	主力不調							リストラ効果	
沖電気	回復へ	主力不調								営業黒字化
松下電器	回復基調	主力不振		円高 -						
シャープ	大幅増益	主力好調								経常回復
ソニー	回復続く	周辺堅調	海外好調	円高 -						
TDK	底固い	主力不調								純利増
バイオニア	合理化進	主力不調							合理化	連結純利伸
カシオ計	採算改善	主力減収				リストラ	特損あり			最終損益黒字
京セラ	増益	主力好調								
松下電工	微増益	主力好調								
キャノン	円高痛手	国内回復		円高 -						純利減
アドバンテ	急進	主力好調				リストラ	特損相殺			
ローム	増益	主力伸長				リストラ	特損相殺51			
三井造船	最終赤字	主力赤字				リストラ	特損あり	経費削減		経常増
川崎重工	経常赤字	主力不調		円高 -		リストラ	特損350			
石川島播	経常赤字	主力不調		円高 -						
日産自動	経常再建			円高 -		リストラ	特損2000			
いすゞ自動	円高 - 14	国内苦戦					特損あり			
トヨタ自動	ヴィッツ快	国内好調	国外好調	円高 -				合理化		経常横ばい純利増
日野自動	赤字	主力不調						合理化		最終赤字
三菱自動	赤字脱出	国内不調				リストラ	特損あり			
マツダ	連続最高	主力減収								
ホンダ	減益	国内苦戦	国外好調	円高 - 100						
スズキ	健闘	国内好調	海外苦戦							実質横ばい
富士重工	連結減益	国外好調		円高 - 19						
(株)ニコン	増配	主力好調		円高相殺						
(株)リコー	最高益	主力好調		円高相殺						
シチズン	大幅減益	主力減収	国外不調	円高 -						
伊藤忠商	不振	主力減収				リストラ	特損2500	経費削減		
丸紅	黒字浮上		国外好調			リストラ	特損相殺700	経費削減	減収	
株)トーマン	低水準	主力好調		円高 -			特損250	合理化		連結純利少額
三井物産	連結増益	国内低調	国外好調							
住友商事	黒字浮上		国外好調			リストラ	特損200			減収
三菱商事	減益	国内低調	国外回復			リストラ	特損相殺1000			
日商岩井	リストラ加速						特損相殺	経費低減		最終黒字 減収



## 2001 年の状況表示

会社名	状況	主力1	主力2	海外	リストラ特損	特損	経費	その他
大成建設	営業増額				リストラ特損あり			
(株)大林	営業増額				リストラ特損あり		採算悪化	
清水建設	粗利低下	小			リストラ特損712			
佐藤工業	営業急増							
飛鳥建設	純益低調						採算下降	
(株)フジ	営業増益						採算改善	売上底入れ
鹿島	営業減益						低採算	
八ザマ	売り上げ続落						採算下降	
(株)熊谷	採算悪化				債務超過4689			
東亜建設	営業減益				特損あり			
積水ハウ	営業最高益				特損相殺			
日本製粉	順調		主力2伸長					
(株)日清	営業利益増	主力1安定						
森永製菓	利益増	主力1順調	主力2苦戦		リストラ特損200/8			
明治製菓	営業減益	主力1伸長	主力2降下		リストラ特損あり		経費増額	
明治乳業	大赤字	主力大打撃				特産相殺		
サッポロ	収益減額	主力低調				特損あり	経費節減	
アサヒビー	営業増益	主力低調			リストラ特損あり		経費抑制	
キリンビー	営業増益	主力低迷		海外特損計上		特損あり		
宝酒造	続伸	国内苦戦			リストラ特損相殺50		経費増加	
メルシャン	営業小減	主力続落					経費削減	
日清製油	競合	需要低下			リストラ特損あり		経費圧縮	
キッコーマ	収益微減							
味の素	国内不振				リストラ特損あり			
(株)ニチ	主力順調				リストラ特損相殺166			
JT	減益幅拡大	主力悪化			リストラ特損相殺		経費拡大	
武田薬品	絶好調	主力好調			特損減少			
山之内製	営業利益伸	主力堅調						
第一製薬	純益堅調	主力停滞		国外好調	リストラ特損処理			
大日本製	連結増益	主力1停滞	主力2好調		リストラ特損相殺142		経費抑制	
塩野義製	営業増益	主力続伸			リストラ特損あり		経費拡大	リストラ効果
藤沢薬品	最終減益	国内続伸		国外好調			経費拡大54	
エーザイ	最高益	主力続伸		海外好調	リストラ特損相殺138			
テルモ	連結減額	主力着実					償却増加	
新日本製	増益	主力増益			リストラ特損338	償却		純益少
川崎製鉄	増益	主力1倍増			リストラ特損あり			
NKK	復配	主力増益						営業利益減額
住友金属	連結黒字	国内減収		海外増収		借金592		連結決損縮小210
(株)神戸	黒字転換	主力増益						
日本軽金	配当なし	主力伸び悩み					工場閉鎖	分野撤退
住友金属	増額				リストラ特損	事故特損抹消		営業増益 純益赤字
東邦亜鉛	反転				リストラ特損24	条件改善		リストラ効果
三菱マテ	確保	国内好調		海外不調	リストラ特損あり			黒字浮上
同和鋳業	増額	主力1伸び	主力2原料	上昇増益				黒字化
古河機械	回復	国内好調		海外不調	リストラ特損あり			リストラ効果
古河電気	連結最高	主力好調			特損あり			純益反落
住友電気	増額				リストラ特損			純益最高
(株)フジ	採算改善	国内不調		海外好調				大幅回復
東洋製罐	営業減益				リストラ特損	償却負担増		



会社名	状況	主力1	主力2	海外	リスト外特損	特損	経費	その他
(株)セブ	連結増益	主力好調						子会社立ち上げ負担
(株)三越	上乘せ							
(株)東急	子会社清算	本体低調			リスト外特損	特損あり		
(株)高島	連結改善						経費削減	営業増益
(株)イトー	純益増	本体不調						
イオン	増益	本体底打ち						
(株)みず	合理化							最終増益
(株)三菱東京フィナンシャルグループ								
(株)UFJホールディングス								
(株)三井住友銀行								
(株)横兵衛	最高益						効率見直し / 経費削減	純益過去最高
(株)静岡	減益				リスト外特損			純益減
(株)住友	増益維持	国内好調		海外低調			経費圧縮	
(株)安田	経常黒字	主力堅調						
日本電信	純益浮上	主力1減額	主力2好調		リスト外特損	特損		
KDDI	主力1不調		主力2好調		リスト外特損	特損		
(株)NTT	連結総額	主力好調					リスト外効果	最高益
(株)NTT	増額						経費増	
東京電力	連結減益	主力好調				リスト外特損	特損	
中部電力					リスト外特損	特損		
関西電力	純益急増					特損あり		営業減益
東京ガス	連結増額					リスト外特損	特損	
大阪ガス	純益増							営業増

## 2002年の状況説明

会社名	状況	主力1	主力2	円安 / 円高	海外	リストラ	特損	特損	その他
大成建設	特損							特損1000	
(株)大林	特損							特損1300	
清水建設	純益浮上							特損180	
佐藤工業	純益低空								
飛鳥建設	大幅減額					リストラ	特損		
(株)フジ	黒字化						特損減		
鹿島	減益					リストラ	特損110		
ハザマ	営業益減額					リストラ	特損あり		
(株)熊谷	増益						債務免除		
東亜建設	減額	主力停滞				リストラ	特損未消		
積水ハウ	反落	主力落ち込み					特損あり		
日本製粉	苦戦					リストラ	特損		
(株)日清	減益	収益柱落ち込み							
森永製菓	横ばい	本業減							減収200減益35
明治製菓	小幅増益	本業堅調				リストラ	特損未消		
明治乳業	大幅減益						特損あり		
サッポロ	増益	主力1大幅	主力2好調						
アサヒビ	増収増益		主力2好調			リストラ	特損		
キリンビ	主力低迷	主力1続落	主力2停滞						
宝酒造	減額		主力2堅実						
メルシャン	底打ち	主力1底打	主力2増額						
日清製油	減額	主力1横ばい			海外順調				
キッコー	マ堅調	主力シフト変更		円安+	海外順調				
味の素	最高益	主力2海外増			海外順調				
(株)ニチ	減額	主力増額		円安-		リストラ	特損未消		
JT	横ばい	主力1減	主力2増						
武田薬品	激増								
山之内製	減益幅縮	主力1減少	主力2続伸						
第一製薬	着実				海外好調				
大日本製	微増益	主力1伸長	主力2増勢						
塩野義製	減額								
藤沢薬品	増額			円安+	海外伸長				
エーザイ	最高益	主力1悪化			海外伸長				
テルモ	一転減益	主力減額	主力2伸長		輸出増加				
新日本製	減額	主力減額					特損あり		
川崎製鉄	減額								
NKK	不振							特損抹消	
住友金属	改革損	主力減益							
(株)神戸	再赤字	主力1減益	主力2堅調					特損あり	
日本軽金	減額			円安+					
住友金属	不況	主力1不調	主力2激減		国外赤字				
東邦亜鉛	減益	主力減速						特損あり	
三菱マテ	リ減配懸念					リストラ	特損あり		
同和鋳業	特別益	主力1堅調	主力2不調	円安+					
古河機械	無配	主力1堅調	主力2不調	円安+				特損69	
古河電気	大幅赤字	主力減額						特損あり	
住友電気	純益半減								
(株)フジ	不振	主力1順調			海外減額				
東洋製罐	減益幅拡	主力1順調	主力2激減						

会社名	状況	主力1	主力2	円安 / 円高	海外	リストラ	特損	特損
(株)日本電産	純益浮上	主力2減少						
オークマ	無配	主力不調			海外落ち	リストラ	特損24	
コマツ	最終赤字	主力減収				リストラ	特損あり	
住友重機	減収増益			円安+				
(株)ヨボヤ	下方修正	主力好調			国外好調			
荏原実業	一転減益			円安+	海外増収			
千代田化工	最終0	主力堅調						
日本精工	赤字転落	主力減収			海外不調			
NTN	大幅減益						特損あり	
光洋精工	利益急減	主力1堅調			国外不調		特損あり	
(株)不二	続落	主力2苦戦						
日立造船	横ばい	主力堅調		円安+				繰り越し-76
三菱重工	減額							特損あり
ダイキン	主力減少	主力減益						特損あり
ミネベア	純益急落							
(株)日立	赤字				国外不調	リストラ	特損1100	
(株)東芝	大幅赤字	主力1堅調			国外不調	リストラ	特損1250	
三菱電機	営業大減	主力1堅調	主力2赤字		国外不調			
富士電機	大幅減益	主力2不調				リストラ	特損相殺	
(株)明電	黒字化	主力1順調			国外好調			
NEC	減額	主力不振	主力2減額					特損1000
富士通	再減額	主力減収						特損3500
沖電気	赤字	主力停滞				リストラ	特損140	
松下電器	赤字転落	主力堅調				リストラ	特損2000	
シャープ	減退							
ソニー	苦戦	主力堅調	主力不振					
TDK	赤字	主力1順調				リストラ	特損あり	
パイオニア	減益	主力乱調	主力2不調	円安-	国外不調	リストラ	特損あり	
カシオ計	赤字転落	主力1堅調					特損あり	
京セラ	下方修正	主力低調	主力2落ち込み			リストラ	特損あり	
松下電工	減額			円安+				
キャノン	増益幅縮	主力微増			海外悪化			
三井造船	最終ゼロ	主力好調						特損あり88
川崎重工	計上浮上	主力堅調		円安-				
石川島播	減額			円安-				
日産自動	原価低減			円安+	海外復調			
いすゞ自	減額				国外不調	リストラ	特損あり	
トヨタ自動	大台突破	主力堅調			海外好調			
日野自動	営業減額				海外堅調			
三菱自動	改善			円安+				
マツダ	復配				海外好調			
ホンダ	絶好調	主力1好調						
スズキ	横ばい	主力2堅調			海外好調			
富士重工	減額	主力1大減速		円安-				
(株)ニコン	最終赤字	主力2好調				リストラ	特損あり	
(株)リコー	増益基調	主力急落		円安+	海外好調			
シチズン	赤字化				国外減額	リストラ	特損あり	
伊藤忠商	減額							特損2080
丸紅	大赤字				海外不調			

会社名	状況	主力1	主力2	円安 / 円高	海外	リストラ	特損	特損
(株)トーマン	減額							特損あり
三井物産	減額	主力増額	主力2減額		海外不調			
住友商事	最高益	主力1好調			海外不調			
三菱商事	堅調	主力2不調						特損あり
日商岩井	純益減	主力不調						
(株)セブン-イレブン	増益	主力増益						特損相殺
(株)三越	横ばい				海外不調	リストラ		特損
(株)東急百貨店	浮上	主力堅調						
(株)高島屋	増額					リストラ		特損あり
(株)イトーヨーカ堂	底打ち	主力好調				リストラ		特損あり
イオン	健闘	主力堅調				リストラ		特損あり
(株)みずほホールディングス	大幅赤字				海外不調			特損あり
(株)三菱東京フィナンシャル	黒字	主力好調						特損あり
(株)UFJホールディングス	大幅赤字	主力好調						特損あり
(株)三井住友銀行	赤字転落				海外好調			
(株)横浜銀行	堅調	主力堅調						
(株)静岡銀行	純益増							特損88
(株)住友信託銀行	減益	主力不調						特損あり
(株)安田信託銀行	大幅赤字	主力堅調						特損あり
日本電信電話	減額	主力不調				リストラ		特損あり
KDDI	減額	主力不調						特損あり
(株)NTTドコモ	最終減額	主力堅調						
(株)NTTデータ	微増	主力堅調						
東京電力	営業減益							特損あり
中部電力	純増益	主力不調						特損40
関西電力	減益	主力堅調				リストラ		特損あり
東京ガス	営業減益	主力堅調		円安 -				特損あり
大阪ガス	増益	主力減額						

## 各グラフの基となるデータ

会社名	業界分類	00人/売	00経/資	01人/売	01経/資	02人/売	02経/資
大成建設	建設	15.40	0.34	11.47	0.53	11.22	0.50
(株)大林組	建設	23.78	0.47	9.67	0.61	9.37	0.40
清水建設	建設	8.73	0.47	9.09	0.58	9.10	3.57
佐藤工業	建設	9.25	0.31	9.56	0.74	11.31	0.23
飛島建設	建設	10.16	0.16	9.87	0.52	9.02	0.02
(株)フジタ	建設	9.14	0.15	9.46	0.16	9.17	0.29
鹿島	建設	10.74	0.44	9.83	0.55	8.96	0.48
ハザマ	建設	10.69	0.37	10.27	0.54	7.46	0.44
(株)熊谷組	建設	10.78	0.01	11.12	0.00	10.07	0.22
東亜建設工業	建設	11.72	0.65	10.54	0.44	10.16	0.35
積水ハウス	建設	12.09	0.38	13.28	0.54	14.60	0.39
日本製粉	食料品	8.39	0.28	9.77	0.33	11.27	0.28
(株)日清製粉グループ本社	食料品	7.99	1.19	11.94	1.22	11.87	0.99
森永製菓	食料品	14.70	0.44	18.66	0.46	19.08	0.31
明治製菓	食料品	30.04	0.66	21.94	0.65	20.22	0.65
明治乳業	食料品	11.61	0.58	12.22	0.67	12.08	0.41
サッポロビール	食料品	6.69	0.18	5.44	0.17	9.52	0.22
アサヒビール	食料品	3.99	0.42	3.00	0.08	10.10	0.30
麒麟ビール	食料品	6.91	0.78	13.41	0.93	14.56	0.75
宝酒造	食料品	11.06	0.89	15.00	0.89	15.96	0.72
メルシャン	食料品	9.97	0.14	15.00	0.42	13.56	0.14
日清製油	食料品	10.31	0.27	14.99	0.22	14.67	0.17
キッコーマン	食料品	26.74	1.11	8.37	1.18	19.35	1.13
味の素	食料品	8.47	0.52	26.37	0.53	26.21	0.66
(株)ニチレイ	食料品	6.05	0.51	12.70	0.54	12.08	0.38
JT	食料品	7.18	1.40	9.23	0.35	8.89	1.29
三共	医薬品	18.44		20.04	1.70	20.51	1.26
武田薬品工業	医薬品	12.71	3.51	16.27	4.50	14.69	5.43
山之内製薬	医薬品	14.27	1.11	20.87	1.00	19.82	0.95
第一製薬	医薬品	16.24	1.98	21.98	1.46	21.23	1.50
大日本製薬	医薬品	18.18	1.02	16.75	1.07	15.89	1.30
塩野義製薬	医薬品	26.80	1.25	23.65	1.32	22.98	0.70
藤沢薬品工業	医薬品	25.57	1.13	27.43	1.16	25.05	1.21
エーザイ	医薬品	18.44	0.82	19.72	1.25	17.06	1.72
テルモ	医薬品	30.63	0.69	40.54	0.72	40.46	0.63
新日本製鐵	鉄鋼	11.56	0.15	19.89	0.25	19.81	0.10
川崎製鐵	鉄鋼	13.74	0.11	23.91	0.22	24.02	0.10
NKK	鉄鋼	13.13	0.09	22.10	0.17	22.95	-0.11
住友金属工業	鉄鋼	12.09	-0.30	25.51	0.08	25.52	0.00
(株)神戸製鋼所	鉄鋼	13.13	0.06	22.42	0.23	24.55	-0.03
日本軽金属	非鉄金属	15.10	-0.25	24.36	0.05	24.28	0.12
住友金属鉱山	非鉄金属	11.63	0.33	22.35	0.29	26.21	0.01
東邦亜鉛	非鉄金属	19.82	0.15	20.05	0.23	20.02	0.23
三菱マテリアル	非鉄金属	12.39	0.04	21.92	0.33	5.71	-0.07
同和鉱業	非鉄金属	9.16	0.21	16.44	0.37	16.95	0.25
古河機械金属	非鉄金属	17.84	0.09	24.12	0.11	20.91	-0.26
古河電気工業	非鉄金属	17.66	0.41	23.93	1.05	24.36	0.33
住友電気工業	非鉄金属	52.44	1.97	48.99	0.86	49.56	0.06
(株)フジクラ	非鉄金属	63.10	0.37	62.13	0.46	67.35	0.35
東洋製罐	金属製品	12.13	1.17	20.13	2.97	21.94	1.89

会社名	業界分類	00人/売	00経/資	01人/売	01経/資	02人/売	02経/資
(株)日本製鋼所	機械	21.31	0.09	35.14	0.13	33.67	0.12
オークマ	機械	133.36	-0.12	20.18	-0.08	22.65	-0.19
コマツ	機械	15.74	0.51	28.35	0.34	29.60	-0.77
住友重機械工業	機械	19.84	0.21	25.49	0.16	25.41	0.16
(株)クボタ	機械	4.87	1.74	25.75	0.74	24.82	0.51
荏原	機械	6.98	0.03	12.90	1.91	11.45	1.57
千代田化工建設	機械	294.96	0.01	25.93	-0.74	18.81	-0.37
日本精工	機械	21.71	0.30	43.50	0.30	47.63	-0.08
NTN	機械	11.48	0.06	37.08	0.28	37.75	0.08
光洋精工	機械	63.74	0.18	42.44	0.42	50.17	0.17
(株)不二越	機械	30.38	0.13	23.61	0.19	42.49	0.21
日立造船	造船	28.97	0.23	24.12	0.14	24.28	0.18
三菱重工業	機械	26.49	-0.34	22.18	0.21	22.52	0.21
ダイキン工業	機械	45.35	0.73	28.18	1.25	28.43	1.36
ミネベア	機械	249.14	0.32	155.60	0.40	173.17	0.08
(株)日立製作所	電気機器	16.35	0.28	41.06	1.12	43.05	-0.83
(株)東芝	電気機器	17.17	-0.16	30.40	0.95	34.43	1.09
三菱電機	電気機器	16.46	0.23	27.32	1.23	30.94	-0.17
富士電機	電気機器	21.48	-0.02	30.85	0.42	31.26	0.19
(株)明電舎	電気機器	25.93	0.04	43.12	0.18	41.75	0.29
NEC	電気機器	10.01	0.13	28.22	0.64	28.61	-0.90
富士通	電気機器	13.59	0.23	33.18	0.71	35.30	0.38
沖電気工業	電気機器	19.01	0.11	34.98	0.27	35.25	0.07
松下電器産業	電気機器	10.04	0.00	39.37	0.98	43.05	-1.75
シャープ	電気機器	16.79	0.29	24.33	0.39	26.57	0.24
ソニー	電気機器	8.35	0.00	26.35	0.55	24.24	0.15
TDK	電気機器	17.27	2.25	54.38	2.63	63.26	-0.08
パイオニア	電気機器	19.60	0.57	44.74	0.66	46.03	0.47
カシオ計算機	電気機器	11.35	0.34	42.05	0.36	41.97	-0.06
京セラ	電気機器	26.71	0.84	35.16	1.88	40.83	0.61
松下電工	電気機器	18.85	0.32	36.13	0.49	37.92	0.35
キャノン	電気機器	14.25	0.95	30.44	1.43	32.74	1.70
三井造船	造船	12.15	0.09	24.12	0.16	22.13	0.20
川崎重工業	造船	17.02	-0.20	27.63	-0.20	24.81	0.16
石川島播磨重工	造船	16.46	-0.13	22.96	0.40	21.71	0.28
日産自動車	自動車	11.71	0.00	23.00	0.44	20.33	0.58
いすゞ自動車	自動車	15.81	-0.76	19.63	-0.36	18.86	0.07
トヨタ自動車	自動車	9.45	2.01	16.04	1.94	17.13	2.85
日野自動車	自動車	18.97	-0.96	31.76	0.05	11.45	0.10
三菱自動車工業	自動車	12.70	-0.03	18.97	-0.30	18.14	0.04
マツダ	自動車	16.36	0.05	20.87	-0.35	9.81	0.02
ホンダ	自動車	9.97	4.83	17.99	4.30	4.00	5.93
スズキ	自動車	11.28	0.58	19.61	0.54	18.83	0.43
富士重工業	自動車	16.58	0.99	20.60	0.47	19.68	0.42
(株)ニコン	精密機器	21.92	0.31	26.35	1.12	32.03	0.11
(株)リコー	精密機器	15.99	0.68	44.37	0.91	44.53	1.04
シチズン時計	精密機器	14.31	0.80	52.24	0.84	56.06	0.25
伊藤忠商事	卸売業	0.53	-0.54	3.43	0.89	3.65	0.58
丸紅	卸売業	0.65	0.03	3.13	0.13	3.44	-0.70
(株)トーマン	卸売業	0.92	0.30	3.01	0.84	3.90	0.78
三井物産	卸売業	0.68	0.27	2.58	0.52	2.81	0.44
住友商事	卸売業	0.58	0.34	3.16	0.47	3.08	0.47
三菱商事	卸売業	0.75	0.25	3.05	0.99	3.15	0.87
日商岩井	卸売業	0.67	0.31	2.94	0.43	3.64	0.34

会社名	業界分類	00人/売	00経/資	01人/売	01経/資	02人/売	02経/資
(株)セブン-イレブン ジャパ	小売業	11.09	8.24	10.50	8.55	12.64	8.62
(株)三越	小売業	12.59	0.22	7.10	0.34	13.43	0.44
(株)東急百貨店	小売業	12.80	-0.06	17.16	-0.07	14.03	0.07
(株)高島屋	小売業	10.40	0.40	13.53	0.43	12.95	0.55
(株)イトーヨーカ堂	小売業	11.26	3.65	17.45	1.29	16.66	3.57
イオン	小売業	10.62	1.47	6.48	0.48	14.35	2.04
(株)みずほホールディングス	銀行	3.99	0.02	5.71	0.26	10.19	0.39
(株)三菱東京フィナンシャル	銀行	12.37	0.22	12.78	0.28	6.23	-0.13
(株)UFJホールディングス	銀行	9.06	0.39	12.67	0.17	15.36	-0.90
(株)三井住友銀行	銀行	8.39	0.20	10.05	0.34	7.24	-0.05
(株)横浜銀行	銀行	17.21	0.29	15.77	0.28	14.93	0.25
(株)静岡銀行	銀行	19.81	0.46	17.61	0.36	20.84	0.18
(株)住友信託銀行	銀行	6.65	0.28	9.25	0.34	9.58	0.16
(株)安田信託銀行	銀行	8.31	-0.05	8.99	0.12	13.72	-0.46
日本電信電話	通信	6.77	1.09	20.65	0.94	19.43	0.71
KDDI	通信	4.91	-0.07	3.27	0.38	4.80	0.49
(株)NTTドコモ	通信	2.76	1.06	3.81	1.40	3.86	0.84
(株)NTTデータ	通信	14.93	0.24	16.92	0.28	18.52	0.34
東京電力	電気	8.38	0.52	9.28	0.47	10.33	0.49
中部電力	電気	9.50	0.34	10.86	0.37	10.65	0.46
関西電力	電気	10.56	0.34	12.46	0.31	14.61	0.30
東京ガス	ガス	13.56	0.31	15.54	0.39	14.83	0.47
大阪ガス	ガス	14.09	0.35	16.39	0.45	16.00	0.54

